

寄世蛾記 98

2000年11月22日



埼玉昆虫談話会

表紙の昆虫

山地で見られるクロボシヒラタシデムシ

林道でケモノの死骸を見つけ、ひっくり返してみると「のそのそっ」とシデムシが歩きだしました。全身つや消しで赤い胸部には4つの黒紋が目立ちます。クロボシヒラタシデムシはカバイロヒラタシデムシやビロードヒラタシデムシと共に山地で見られる種で、いずれもそんなに多くはないものです。本種がこの中ではいちばん低地寄りに生息するようで、嵐山町などの山地に接する丘陵地帯でも得られています。また、爬虫類の死骸にたくさんの幼虫とともに群がっていたりすることもあります。腐肉の紅一点？といったところでしょうか。

イラスト・文：豊田浩二

埼玉県から新たに記録される甲虫類 (2)

豊田 浩二

前回に引き続き、筆者の手元に標本があるもので埼玉県初記録と思われる甲虫類について、標本整理と同定がとりあえず済んでいるものを報告する。また、筆者が所有しているもの以外で公表許可をいただいた標本についても合わせて報告する。

なお、本稿を作成するにあたり、標本同定でお世話になった東京農業大学昆虫分類研究室の鶴智之氏、大阪自然史博物館の初宿成彦氏、貴重な標本を恵与頂き記録の公表について快諾された東京農業大学昆虫分類研究室の新井志保氏、寄居町の南部敏明氏、北海道大学院昆虫分類体系学講座の丸山宗利氏に、また文献についてお世話になった東京都高尾自然科学博物館の松本慶一氏に厚く御礼申し上げる。

本稿で取り上げた県内初記録と思われる甲虫類は全部で28種である。記録は前回同様、種名(学名・和名)、採集個体数、場所、年月、採集者の順で示した。また、全ての種について何らかの情報を付け加えるよう心がけた。

COLEOPTERA コウチュウ目

Hydrophilidae ガムシ科

1. *Laccobius fragilis* NAKANE, 1966 ヒメシジミガムシ

1頭, 嵐山町鎌形(都幾川), 5.VI.2000, 筆者採集, 保管。

清流に生息する種である。*L. bedeli* シジミガムシに良く似ているが、この種はどちらかと言うと止水域に多いようである。都幾川流域ではシジミガムシもごく普通に得られるが、ヒメシジミガムシの方がシジミガムシにくらべ小型で3mmに満たないことである程度区別できるようである。またシジミガムシは後脚ふ節の第2節が第3節の2倍の長さなのに対し、ヒメシジミガムシは第2節の方がやや長い程度だということでも識別できる。これまで筆者が採集したシジミガムシの中にはいくつか本種と思われる標本が含まれており、今後きちんと整理してまとめて記録したいと思う。

Histeridae エンマムシ科

2. *Anapleus semen* (LEWIS, 1884) ツブエンマムシ

1頭, 荒川村安谷川川浦溪谷(標高800m付近), 9.VII.2000, 筆者採集, 保管。

林道脇の日影で斜面の部分を這っているものが得られた。落葉下に生息するものなのだろうか。

Leiodidae タマキノコムシ科

3. *Ptomaphagus takaosanus* NAKANE, 1982 タカオオニセチビシデムシ

1♀, 玉川村春日神社, 8.VIII.2000, 筆者採集, 保管。

体長2mm程度と非常に小さく、腐肉などに集まっても小さすぎて見逃しがちである。照葉樹林の林床にしかけたベイトトラップに入っていた。誘引剤としてはさなぎ粉を使用していたが、動物質のためチビシデムシ類等も誘引されるのであろう。腐肉トラップよりは扱いやすいが、個体数を多く採るにはあまり期待出来ない。

4. *Sciodrepoides fumatus* (SPENCE, 1815) カバイロコチビシデムシ

4♂♂7♀♀, 東秩父村白石峠(標高750m付近), 25.VII.1998, 筆者採集, 保管。

車道でひかれて死んでいたイタチを現地まで運んでトラッピングしたところ、約1週間後にベッコウヒラタシデムシやクロボシヒラタシデムシと共に得られた。環境は沢沿いの自然林であり、外秩父山地にあっては最も良好な森林環境が保たれている場所である。

Trogidae コブスジコガネ科

5. *Trox scaber* (LINNAEUS, 1767) チビコブスジコガネ

1頭, 玉川村田黒, 29.VI.2000, 筆者採集, 保管.

夜間ライトトラップで得られた。採集時には体表面に鳥類の糞がこびりついていたので、近くにサギのコロニーでもあるのであろうか。コブスジコガネ類はライトトラップに誘引されることもしばしばあるが、鳥のハネや動物の骨を用いたトラップである程度採集することが可能である。

Scarabaeidae コガネムシ科

6. *Aphodius madara* NAKANE, 1960 マダラヒメスジマグソコガネ

1頭, 大滝村三峰山, 28.V.1997, 丸山宗利採集, 保管; 1頭, 荒川村安谷川烏帽子谷 (標高1,000m付近), 9.VII.2000, 筆者採集, 保管.

三峰山の個体は採集者の丸山氏によればシカの糞から見出されたとの事である。荒川村の個体は林道に落ちていたカモシカの古い死骸より得られた。山地性の種で本州にのみ分布が知られる。上翅の斑紋は独特であり、他種からは容易に識別できる。

7. *A. brevisculus* (MOTSCHULSKY, 1866) ヌバタママグソコガネ

6頭, 大滝村大洞川仁田小屋沢 (雲取林道標高900m), 6.V.2000, 筆者採集, 保管.

林同協のやや古い人糞に多数の *A. superatratatus* トゲクロツヤマグソコガネと共に見られた。それらを6頭ずつ採集して持ち帰ったものである。頭楯の3隆起のうち中央のものが独特の円錐形をしており、特徴的な種である。シカの糞などにも良く見られるようである。

8. *A. yamato* NAKANE, 1960 クロツブマグソコガネ

4頭, 荒川村安谷川川浦溪谷 (標高800m付近), 29.IV.1997, 筆者採集, 保管.

シカの糞から採集したものである。同所では春季以外にも同様の採集をしているが、本種が得られたのは春季のこの時だけである。益本 (1985) によれば本種の出現季は春～夏季、平地～山地の日かげの古い鹿糞を好むとあり、川浦溪谷での例も一致している。背面が強く膨隆し、肩部に顕著な歯をもつことで他種とは容易に識別できる。

9. *Oxyomus ishidai* NAKANE, 1977 イシダマグソコガネ

1頭, 荒川村安谷川烏帽子谷 (標高1,000m付近), 9.VII.2000, 筆者採集, 保管.

林道上を飛翔している個体が得られた。周囲にはニホンザルやシカなどの大型哺乳類が群れをなして生息しており、好条件に恵まれた生息環境であるといえる。

本種が得られたのは午後4時頃のことであるが、これより少し後の夕方ともなると、人気の無い林道にはたくさんの猿と鹿があらわれる。林道より少し登った自然林の急斜面でケモノたちを見つめていると、まるでこっちがケモノで猿や鹿が道行くヒトのような錯覚におちいる。道をぞろぞろと歩くその様子は一種異様なものがあり、ヒトが入り込むには遠慮してしまいそうな雰囲気である。

Clambidae タマキノコムシモドキ科

10. *Clambus nipponicus* ENDRODY-YOUNGA, 1960 ニホンタマキノコムシモドキ

3頭, 小鹿野町観音山岩殿沢 (標高400m付近), 6.III.1999, 筆者採集, 保管.

秩父札所31番の観音院よりさらに奥へ進むと左手に小さな沢がある。この流れの脇で岩盤の表面を丹念に探していったところ、肉眼ではほとんど確認出来ないくらいの小さな甲虫が得られた。明らかにタマキノコムシモドキ科の一種であり、同定を試みたところ体形はまん丸で

触角は10節、上翅背面にまばらな毛を備えることにより本種と同定できた。

Elmidae ヒメドロムシ科

11. *Zaitzevia nitida* NOMURA, 1963 ツヤドロムシ

1 頭, 嵐山町鎌形 (都幾川), 5.VI.2000, 筆者採集, 保管.

川の瀬の部分で石起こしによって得られた。完全に水没しており、見つけ採りによる採集は極めて困難である。バットや水網を使った採集の方がより効率的に得られるであろう。またヒメドロムシ科の甲虫はライトにも飛来するので、街灯の下などを注意して探せば追加個体得られるであろう。

Eucnemidae コメツキダマシ科

12. *Isorhipis foveata* HISAMATSU, 1955 ホソナガコメツキダマシ

1 ♀, 秩父市有間山 (標高1,100m付近), 5.VI.1999, 筆者採集, 保管.

林道脇の広葉樹をスウィープして得られた。

13. *Xylobius rufomarginatus* FLEUTIAUX, 1929 ツヤヒメコメツキダマシ

1 頭, 荒川村安谷川烏帽子谷 (標高1,000m付近), 9.VII.2000, 筆者採集, 保管.

林道脇にあった広葉樹の古い倒木表面より得られた。久松 (1985) では『上翅は各周縁部が赤化し』と述べられているが、今回得られた個体は前胸背板の基部と上翅全体が赤化したものであり、記述とは大きく異なる。しかしながら触角第4節等の形質により明らかに本種であると同定できるので、種内の色彩変異の最たる例ととらえるのが妥当であろう。

Cantharidae ジョウカイボン科

14. *Trypherus mutilatus* (KIESENWETTER, 1879) ニセキベリコバネジョウカイ

3 頭, 嵐山町平沢 (平沢寺), 22.V.2000, 南部敏明採集, 筆者保管.

ある程度普通に見られる種であるが、これまで県内での記録は無かったようである。

Melyridae ジョウカイモドキ科

15. *Carphuroides plagiatus* (KIESENWETTER, 1874) コバネジョウカイモドキ

1 頭, 川島町荒川旧流路, 1.VII.2000, 新井志保採集, 筆者保管.

Carphuroides 属の種は本邦からは本種のみが知られている。上翅より腹部が大きくはみ出した独特の様相で他種からは容易に識別できるが、その特異な形態から一見してジョウカイモドキの仲間であるとは判断しかねる。また本種は比較的珍しい種のものである。この個体は草地の脇にとめておいた筆者の車に付いていたもので、恐らく草地で発生していたものが飛来したのであろう。後翅がある事は東京農大の岸本博士が標本を検した際に確認しており、ある程度の飛翔能力は持つであろうと推測する。

16. *Ebaeus oblongulus* (KIESENWETTER, 1874) クギヌキヒメジョウカイモドキ

1 ♂ 1 ♀, 大滝村大洞川鷹ノ巣沢 (雲取林道標高850m付近), 4.V.2000; 2 ♂♂,

同村大洞川仁田小屋沢 (雲取林道標高900m付近), 6.V.2000, いずれも筆者採集, 保管.

雄の上翅端部には特異な突起物がある。この突起物は雌には見られない。本種も比較的珍しい種のものである。林道沿いの崖に生えるウツギ類等の灌木をスウィーピングすることで得られた。

Rhizophagidae ネスイムシ科

17. *Monotopion ferrugineum* REITTER, 1884 ニセデオネスイ

3頭, 両神村両神山日向大谷～清滝 (標高900m付近), 30.X.1999, 新井志保採集, 筆者保管; 1頭, 神泉村城峰山 (山頂付近のリター), 12.IX.1999, 筆者採集, 保管。
両神村の個体は登山道脇に倒れていた広葉樹の朽木で樹皮剥しにより得られたようである。

18. *Mimemodes japonus* (REITTER, 1874) コバケデオネスイ

1頭, 寄居町円良田湖周辺, 19.XI.1996, 筆者採集, 保管。

冬季採集で得られたものであるが、残念ながら採集時のくわしい状況を覚えていない。この日はオオトクリゴミムシを採るために水辺の崖をひたすら掘っていたことを覚えているが、あるいはこのとき朽ち木の樹皮剥しでもしたのであろうか。

Cryptophagidae キスイムシ科

19. *Telmatophilus orientalis* SASAJI, 1987 ガマキスイ

1頭, 東松山市毛塚 (九十九川脇の湿地), 27.VIII.1997, 筆者採集, 保管。

湿地に生息するキスイムシの一種である。ヒメガマの茂る湿地で地面にたまったリターをめくることにより得られた。

Cerylonidae カクホソカタムシ科

20. *Lapecautomus orientalis* SASAJI, 1983 ナガマルホソカタムシ

42頭, 寄居町釜伏山 (標高570m付近), 5.V.2000, 筆者採集, 保管。

登山道脇のアカマツの倒木を崩したところ、材の細かな隙間よりおびただしい数の本種が見出された。付近には同様の材がいくつもあったことから、かなりの個体数が生息しているものと思われる。

カクホソカタムシ科の甲虫類は良くこうした状況下より見出されるようで、筆者は伊豆諸島三宅島や神奈川県横須賀市などでも同様の採集をしている。また、広葉樹林の落葉下からもたまに得られるが、まとまって得られる事はないのでやはり朽ち木内部が本来の生息場所なのであろう。

Coccinellidae テントウムシ科

21. *Scymnus kaguyahime* H.KAMIYA, 1961 カグヤヒメテントウ

16頭, 嵐山町將軍沢 (前川流域), 8.I.2000; 1頭, 羽生市上新郷 (利根川河川敷), 5.III.2000; 2頭, 東松山市上押垂 (都幾川河川敷), 29.XII.1999; 6頭, 同所, 3.I.2000; 1頭, 同所, 23.III.2000, いずれも筆者採集, 保管。

前回のキイロヒメテントウを記録した時に種名のみ掲載したが、県内で記録が無いとは気付かなかった。河川敷や畑の周りにある荒地といった場所で、石下より得られる。また、筆者の経験では冬季の方が採集しやすいように感じる。

Melandryidae ナガクチキムシ科

22. *Dircaeomorpha validicornis* (LEWIS, 1895) ムツモンナガクチキ

1頭, 荒川村安谷川烏帽子谷 (標高1,000m付近), 9.VII.2000, 筆者採集, 保管。

急斜面の自然林にて、倒木表面に発生した菌類に飛来していたのを採集した。この菌には他にデオキノコムシ類が小型種を中心に多数見られたが、キノコハネカクシ類など他の甲虫類はほとんど見られなかった。

Mordellidae ハナノミ科

23. *Mordellaria arakii* (NAKANE et NOMURA, 1950) アラキハナノミ

1頭, 嵐山町志賀諏訪ノ入, 7.VII.2000, 筆者採集, 保管。

諏訪ノ入には現役で活躍する炭焼窯があり、本種はこの周りに積んであるコナラの薪より得られた。夕方薄暗くなってからのことであり、薪の表面を徘徊する姿が見られた。薪自体は近くの薪炭林より切り出してきたものである。山地性の種であるようだが、嵐山町では山沿いの地域でこうした種が時々得られる。

24. *Falsomordellina takaosana* (KONO, 1932) タカオヒメハナノミ

1頭, 日高市高麗峠, 6.IX.1997, 筆者採集, 鶴智之保管(初宿成彦及び鶴同定)。

巾着田側から高麗峠に登って行き、道脇の低木をスイープすることで得られた。同定していただいた鶴氏の話によれば、本種は関西方面では普通種のようにであり、照葉樹の枝をすくって得られることがあるという。

Tenebrionidae ゴミムシダマシ科

25. *Ischnodactylus loripes* LEWIS, 1894 ヒラタキノコゴミムシダマシ

1♂, 嵐山町鎌形原, 11.II.1997, 筆者採集, 保管。

カエデの立ち枯れて樹皮下より越冬個体が得られた。

26. *Tarpela brunnea brunnea* (MARSEUL, 1876) コマルムネゴミムシダマシ

1頭, 大滝村広河原沢, 19.IX.1999, 新井志保採集, 筆者保管。

県内からは同属の種で *T. cordicollis* マルムネゴミムシダマシの記録が1例知られているが(吉越他, 1998)、前胸背板の形状や前腿節の太さ等により容易に識別できる。

Curculionidae ゾウムシ科

27. *Trachodes subfasciatus* VOSS, 1957 ダルマカレキゾウムシ

3頭, 秩父市橋立川(標高500m付近), 17.VII.1999, 新井志保採集, 吉武啓保管; 2頭, 玉川村日影(雀川ダム), 29.VI.2000, 筆者採集, 保管。

橋立川では林道脇の朽木表面より採集された。朽木自体はカワラタケ類が生えるような状態であり、採集者によれば他にも様々な甲虫類が見られたという。雀川ダムの個体は林道脇に垂れ下がっていた広葉樹の枯枝に付いていたものである。

28. *Hylobitelus futabae* MORIMOTO, 1982 フタバアナキゾウムシ

1頭, 大滝村雁坂峠, 29.VII.1983, 南部敏明採集, 筆者保管。

南部氏の甲虫コレクション中に含まれていたものである。雁坂峠では同属の *H. montanus* (KONO, 1934) ミヤマアナキゾウムシが記録されているが(難倉, 1999)、この種は上翅前側縁がほぼ平行であるのに対し、*H. futabae* は後方に広がる点で若干異なるようである。また、ミヤマアナキゾウムシに見られる腹部側面の黄色鱗片は本種では見られない。筆者の確認した標本は *H. futabae* の形質を備えている事から一応この種として記録しておくが、難倉(1999)の標本写真を見る限りでは同種のようにも思える。よってこれら2種の記録は標本精査の必要性があるものと言えよう。

追 捕

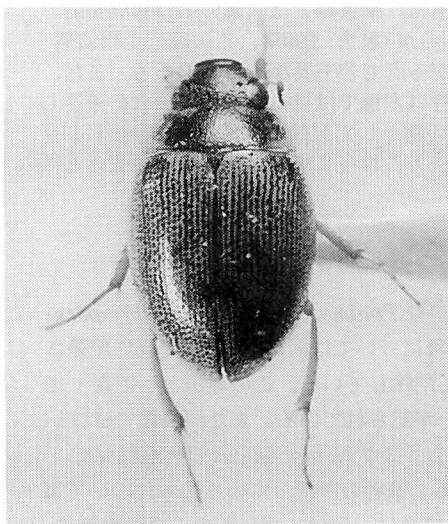
前回の埼玉県初記録甲虫類リスト中でコシマチビゲンゴロウ *Potamonectes* (現在は *Nebrioporus* とされている) *hostilis* (SHARP, 1884) を記録したが、この種については阿部(1990)で既に記録されていた。しかし吉越他(1998)ではこの種を疑問種として削除している。この理由として森・北山(1993)で本種が九州に産する種であるとされていることが記されている。また同図鑑ではコシマチビゲンゴロウのシノニムとされてきたヒメシマチビゲンゴロウ *N. nipponicus* (TAKIZAWA, 1933) を独立種として扱っており、その違いも示されている。筆者の所持している標本について森・北山(1993)の検索表にもとづき再同定を試みたところ、完全に一致はしないものの雄前附節の爪が内側の方が明らかに長い点で一応ヒメシマチビゲンゴロウと同定された。分類学的な扱いには

やや疑問な点があるが、いちおう埼玉県のリストからはコシマチビゲンゴロウを再び削除し、豊田(2000)の記録はヒメシマチビゲンゴロウの記録として訂正する。ちなみにヒメシマチビゲンゴロウは小鹿野町合角(神奈川県立生命の星・地球博物館, 1995)や小川町下里(高橋, 2000)、江南町樋春(高橋, 1998)からすでに記録されている。また標本は検していないが、森・北山(1993)での分布状況に当てはめるならば阿部(1990)のコシマチビゲンゴロウや大熊・黒澤(1995)のシマチビゲンゴロウの記録は全てヒメシマチビゲンゴロウと見るのが妥当であろう。

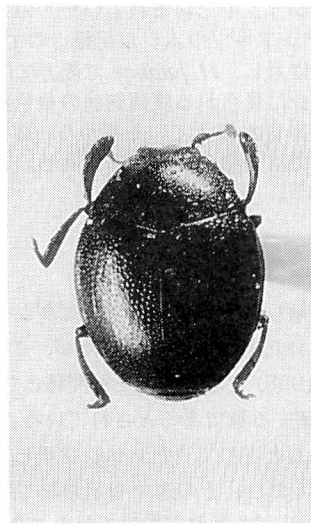
引用文献

- 阿部光典, 1990. 埼玉県産ゲンゴロウ類の記録. 寄せ蛾紀, (56): 1024-1025.
 難倉正人, 1999. 大滝村雁坂峠とその周辺の甲虫類(第1報). 寄せ蛾紀, (92): 2733-2752.
 久松定成, 1985. コメツキダマシ科. 原色日本甲虫図鑑(III), pp.42-50. 保育社.
 神奈川県立生命の星・地球博物館, 1995. 阿部光典ゲンゴロウ類コレクション標本目録.
 神奈川県立博物館 自然部門資料目録, (8): 7-61.
 益本仁雄, 1985. マグソコガネ亜科. 原色日本甲虫図鑑(II), pp.365-378. 保育社.
 森正人・北山昭, 1993. 図説日本のゲンゴロウ. 117pp. 文一総合出版.
 大熊光治・黒澤與四郎, 1995. 小鹿野町自然環境調査報告書. 小鹿野町の自然Ⅰ「水辺の動植物」水生昆虫類. pp.83-84. 小鹿野町.
 埼玉昆虫談話会, 1999. 埼玉県産昆虫リスト(鞘翅目), 埼玉県昆虫誌別巻, pp.111-165.
 佐藤正孝, 1985. ゲンゴロウ科. 原色日本甲虫図鑑(II), pp.183-201. 保育社.
 高橋守, 1998. 江南町の甲虫類. 江南町史 自然編1 動物, pp.203-212. 江南町.
 豊田浩二, 2000. 埼玉県から新たに記録される甲虫類(1). 寄せ蛾紀, (96): 2902-2910.
 吉越肇他, 1998. 埼玉県産の鞘翅目(甲虫類). 埼玉県昆虫誌III, pp.93-340. 埼玉昆虫談話会.

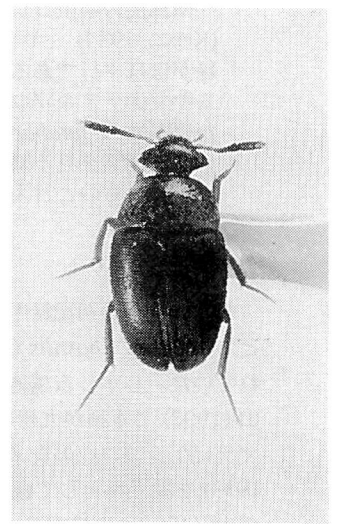
図版. 埼玉県初記録甲虫類(各番号は目録の掲載番号に相当する)



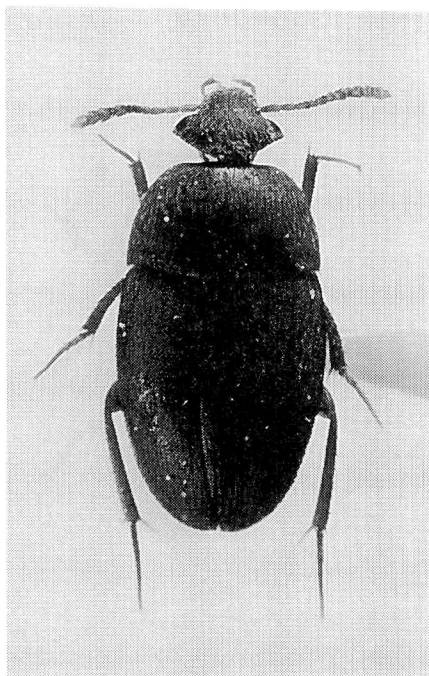
1



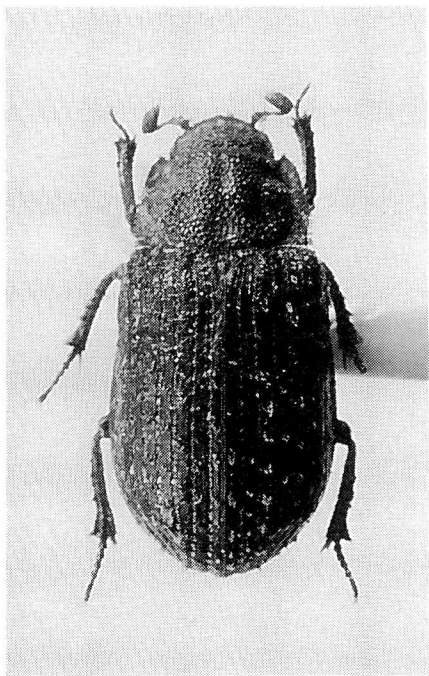
2



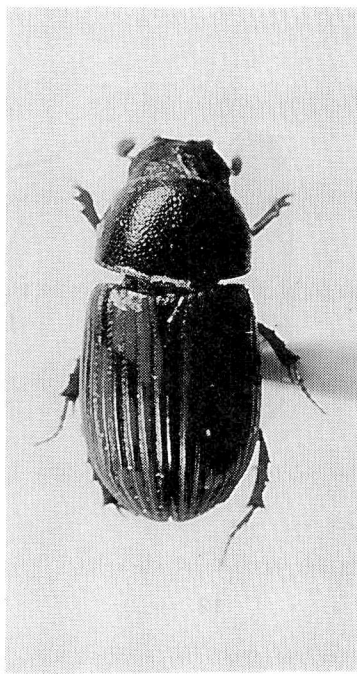
3



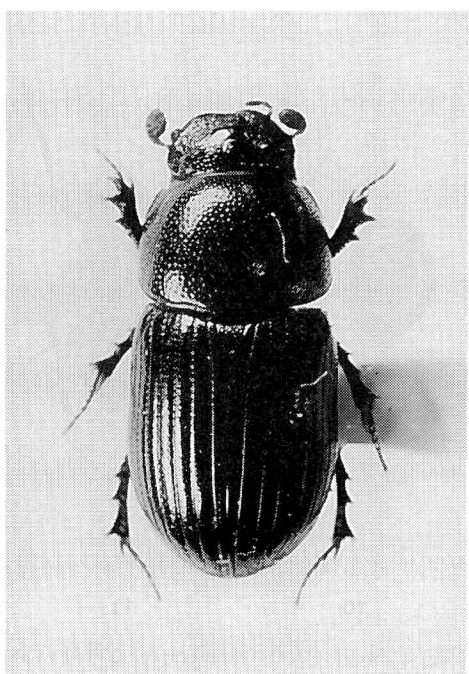
4



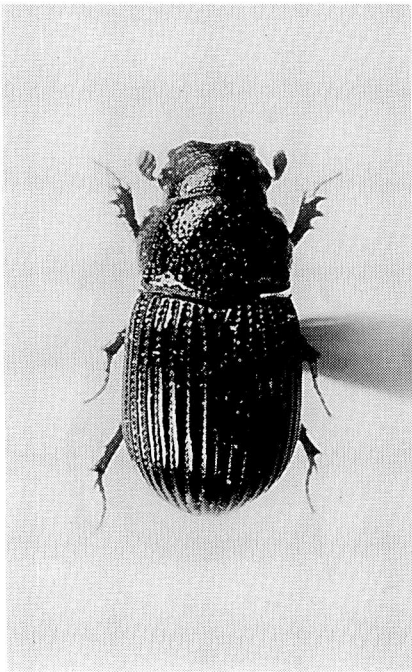
5



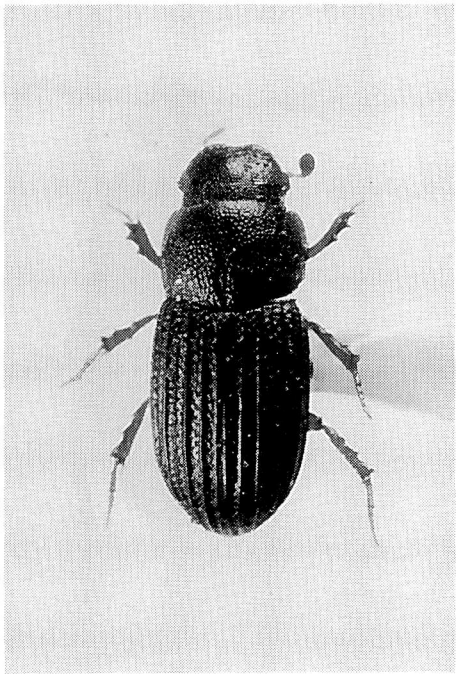
6



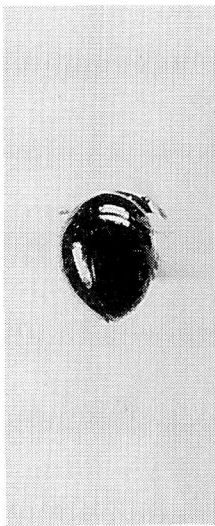
7



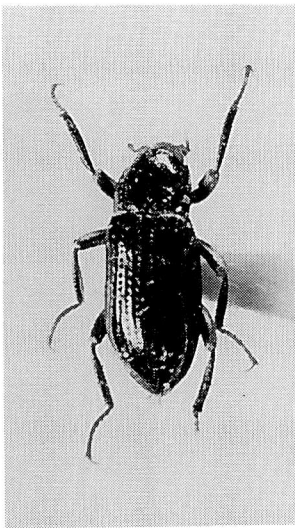
8



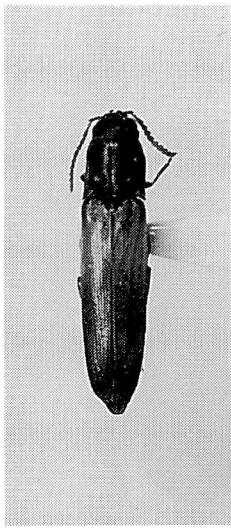
9



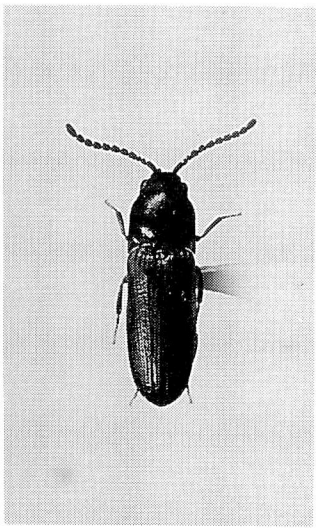
10



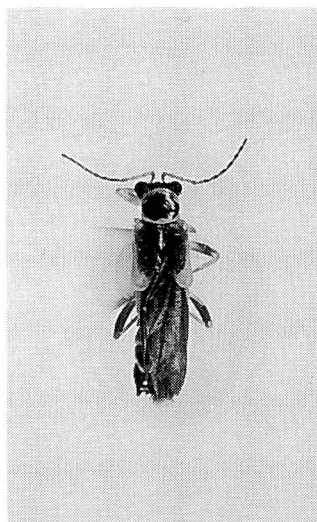
11



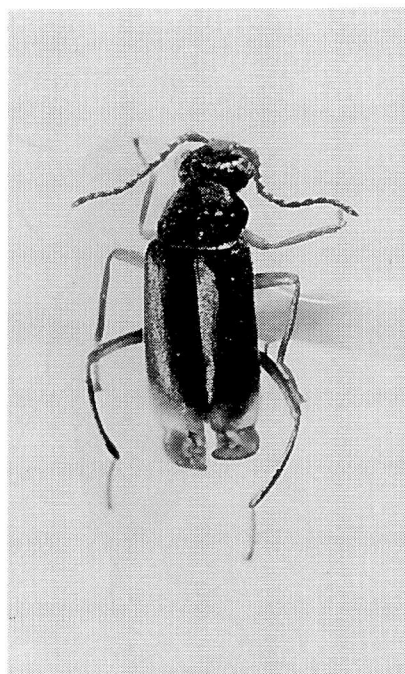
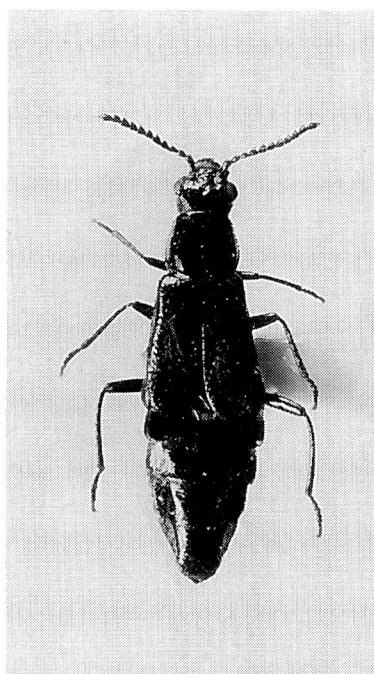
12



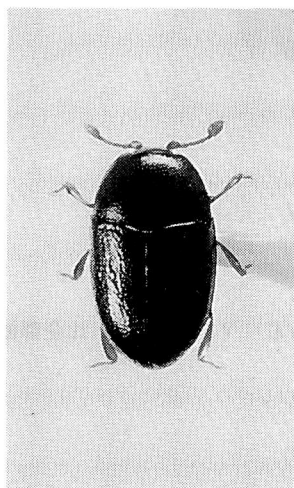
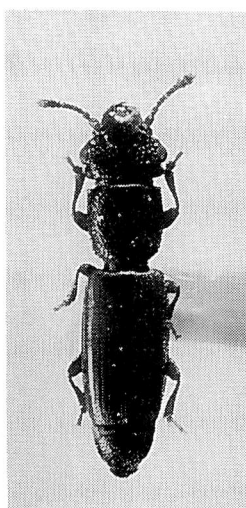
13



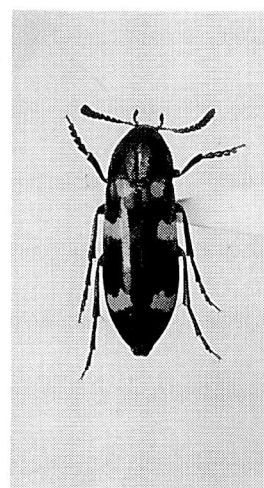
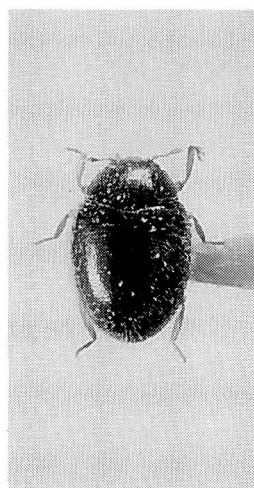
14 (上)
15 (左) 16 (右)

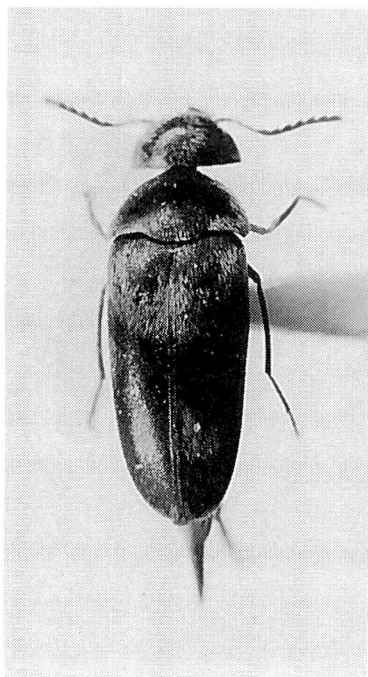


17 (左)
18 (中)
19 (右)

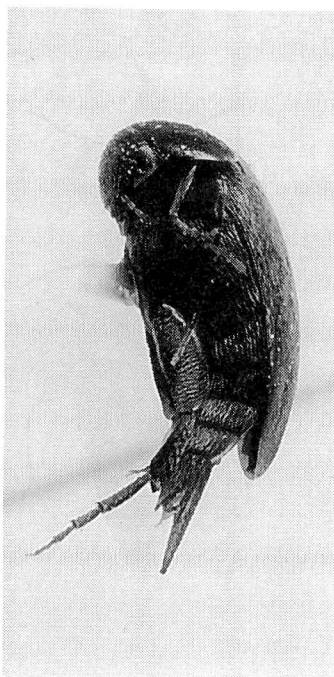


20 (左)
21 (中)
22 (右)

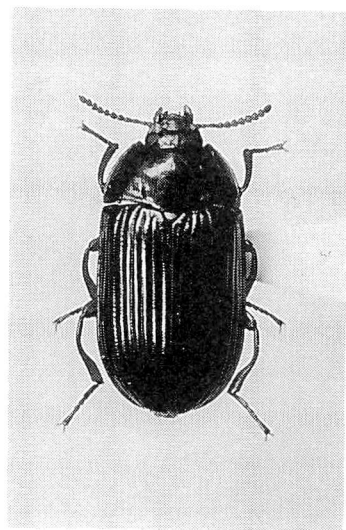




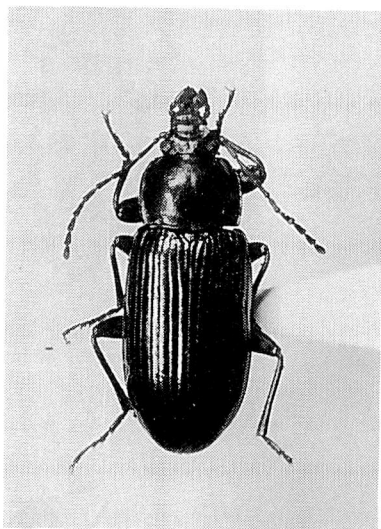
23



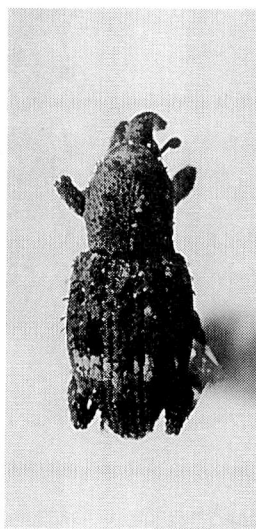
24



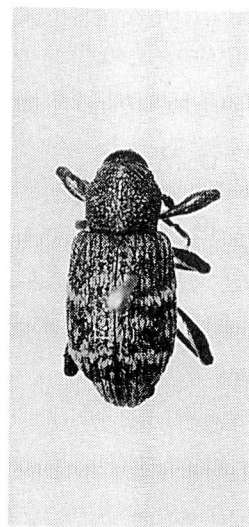
25



26



27



28

(とよだ こうじ 〒355-0221 比企郡嵐山町菅谷686)

埼玉県及び群馬県からのヒラヤマミズアブ採集例

豊田 浩二

ヒラヤマミズアブは黒地に金色の毛を装う格調高いミズアブである。筆者は埼玉県及び群馬県下において本種を採集しているので、採集時の状況も含めて報告する。

Odontomyia hirayamae MATSUMURA, 1916 ヒラヤマミズアブ（玉木長寿氏同定）

1 ♀, 9-V-1998, 群馬県鬼石町桜山, 筆者採集, 保管 (図1)。

1 ♂ 2 ♀♀, 29-V-1999, 埼玉県吉田町城峰山, 筆者採集, 玉木長寿及び筆者保管。

1 ♀, 5-VI-1999, 同県名栗村逆川林道, 筆者採集, 保管。

桜山の個体は日当たりの良い小石の混じる裸地に飛来したもので、クロヤマアリの巣の近くにとまったのでアリノスアブの仲間かと思って採集した。しかしながら、全く違うもののようで、調べてみるとミズアブの一種である事がわかった。ヒゲトハネカクシ類の分類学者で好蟻性昆虫に詳しい北海道大学の丸山宗利氏におたずねしたところ、ミズアブの仲間でもクサアリ類のコロニーより幼虫が得られる種類がいるようで、実際に筆者もそれと同じようなものを埼玉県東秩父村の白石峠にて採集していた。しかしながら、アリの巣付近から採集されたからと言って桜山のミズアブを直ちに好蟻性と判断するわけにはいかず、結論は後の採集成果にゆだねる事とした。

城峰山では沢沿いの日当たりの良い場所で、道脇の草上に飛来したものを採集した。最初の個体を得られた場所で待ち伏せしたところ、すぐに追加個体を得られた。飛翔はさほど素早くはなく、ゆっくりホバリングしながら道沿いの低い位置を飛んでいた。

逆川林道の個体は沢沿いの日当たり良い場所で、砂利の敷かれた空き地（駐車場みたいなどころ）にて草上に静止していたものが得られた。大きめの石の下にクロヤマアリの巣があり、周囲にはキンアリノスアブが群れていた。これらを採集していたところ、ほぼ同じようなところに本種がとまっていた。

わずかではあるが、筆者がこれまでに得た知見をまとめてみると、本種が得られる場所は主に沢沿いの日当たりが良い環境で、小石が剥き出しの裸地とその周囲の草上であり、さらにこうした場所にはクロヤマアリやトビイロケアリ等のアリ類が巣を形成している事が多く、本種はアリノスアブ類と似たような行動を取る事などから好蟻性の種である可能性もある、といった事が挙げられる。好蟻性についてはあくまで推定であるのでとんだ的外れかもしれないが、今後の観察時の参考にしたい。

なお、埼玉県内では本種は大滝村滝沢（玉木, 1999）や小川町靱負、同町金勝山、同町笠山（原, 2000）でやはり春季に得られているようである。

末筆ながら、本種を同定して頂いた毛呂山町の玉木長寿氏に、またミズアブ類について貴重な情報をご教示頂いた北海道大学院昆虫分類体系学講座の丸山宗利氏に厚く御礼申し上げる。

【引用文献】

玉木長寿, 1999. 『埼玉県の双翅類』への訂正と追加. 埼玉県昆虫誌別巻, pp. 37-56.

原 勝司, 2000. 小川町の双翅類. 小川町の自然 動物編, pp. 235-247. 小川町.

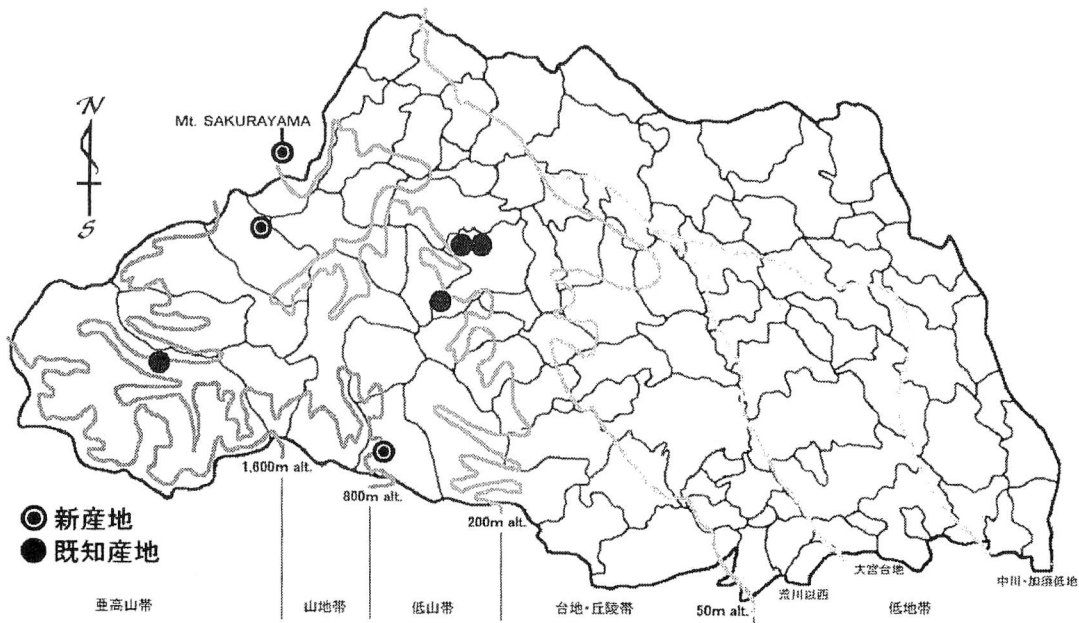
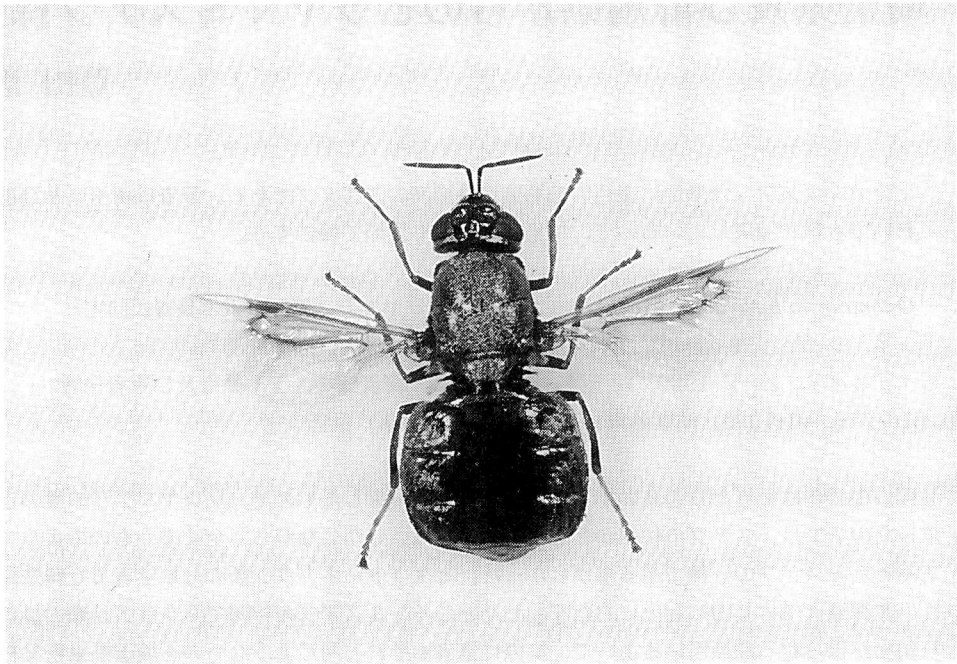


図1. ヒラヤマミズアブの♀（群馬県鬼石町桜山産）と埼玉県での記録地点

（とよだ こうじ 〒355-0221 比企郡嵐山町菅谷686）

Wanted 平地・丘陵の大型蛾

萩原 昇

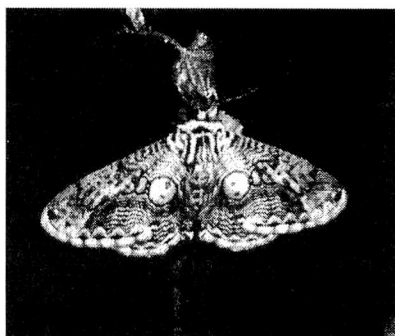
今、埼玉県のパ地や丘陵地帯では急速にヤマユガ科を中心に大型の蛾が減っている。

特にエゾヨツメは大宮台地では、浦和市三室で1967年4月12日に原田幸夫氏が採集した記録が残されているだけで、絶滅したのではと考えられる。また、イボタガやウスバガも急激に減っている。この状況を正確に記録したいと思います。大型の蛾類に関する埼玉県内の採集又は目撃等の記録をお寄せ下さい。

連絡先 〒 344-0053

春日部市梅田本町 2-9-3 萩原 昇 宛て

TEL・FAX 048-754-4441



参考資料

昆虫誌に記録した県内の大型の蛾(イボタガ科・ヤマユガ科)に関する過去の記録を集めると次のようになる。

記録は、市町村名(大字名等): 個体数, 記録年月日, 記録者. の順に記載した。また、1978年に発行された埼玉県動物誌に記録されている1978年以前の記録は地名のみを記録した。

Brahmaeidae イボタガ科

1. [2988] *Brahmaea japonica* (BUTLER) イボタガ

大滝村(滝沢ダム): 1♂, 1992.5.2, 市川和夫. (入川林道): 4♂, 1995.4.29, 築比地秀夫; 2♂
2♀, 1995.4.29, 萩原 昇. (滝川): 一, 1978-81.6.-, 坂田正哉.

春日部市(粕壁): 成虫確認, 1988.4.15, 萩原 昇.

川口市(石神): 1ex., 1972.4.10, 中川勝利.

久喜市(青毛): 2♂, 1985.4.28, 萩原 昇.

所沢市: 幼虫確認, 1983.6.4, 神久保美津夫・市川和夫.

寄居町: 一, 1978-80.6.-, 吉田文作.

<埼玉県動物誌以前の記録>

浦和市(三室). 大宮市. 神泉村(向平).

Saturniidae ヤママユガ科
Saturniinae ヤママユガ亜科

1. [2990] *Samia cynthia* (DRURY) シンジュサン

小鹿野町(合角): 3♂, 1989.8.4, 市川和夫; 8♂, 1990.7.28, 市川和夫; 1♂, 1990.8.24, 市川和夫.

日高市: 種名のみの記録, 1992.市川和夫.

皆野町(立沢): --, 1980.8.9, --; (養山): --, 1978.7.22, --.

横瀬町(字根): --, 1977.9.30, --. (丸山): 1♂, 1996.8.10, 矢野高広.

寄居町: 1♂, 1983.8.4, 南部敏明; --, 1978-80.7. --, 吉田文作.

<埼玉県動物誌以前の記録>

長瀬町(宝登山). 狭山市.

2. [2991] *Antheraea yamamai* (GUERIN-MENEVILLE) ヤママユ

入間市(仏子): 1♀, 1989.8.15, 井上 寛; 1♂, 1989.8.16, 井上 寛; 1♀, 1989.8.26, 井上 寛.

大滝村(川又): 16♂, 1981.8.28, 市川和夫.

小鹿野町(合角): 5♀, 1988.9.16, 市川和夫; 4♂, 1990.8.24, 市川和夫. (薄): 1♀, 1987.8.22, 市川和夫.

小川町(腰越・栗山): 1♀, 1993.9.18, 市川和夫; 1ex.(死骸), 1997.9.27, 萩原 昇. (木呂子・栃谷): 1♀, 1998.10.25, 萩原 昇. (下里・蟹沢): 1♀, 1998.9.19, 萩原 昇.

北本市(石戸宿): 1♀, 1992.8.22, 市川和夫.

久喜市(青毛): 1♀, 1984.10.6, 萩原 昇; 2♀, 1985.8.17, 萩原 昇.

所沢市: --, 1987.8.22, 伴野英雄; 1♀, 1988.8.20, 石澤直也.

飯能市(白子): 1♀, 1990.8.17, 田中 剛.

日高市: 種名のみの記録, 1992.市川和夫.

皆野町(上三沢): --, 1977.8.31, --. (養山): --, 1980.8. --, --.

横瀬町(字根): --, 1978.9.10, --. (丸山): 1♂, 1993.09.17, 萩原 昇.

寄居町: --, 1978-80.8-9. --, 吉田文作.

<埼玉県動物誌以前の記録>

浦和市. 大滝村(上中尾)(中津川)(三峰山). 大宮市. 長瀬町.

3. [2993] *Saturnia japonica* MOORE クスサン

入間市(仏子): 1♂, 1989.9.26, 井上 寛.

大滝村(中双里): 1♀, 1994.10.8, 柴田直之. (滝沢ダム): 1♂1♀, 1990.7.29, 市川和夫; 5♂, 1990.9.22, 市川和夫; 4♂3♀, 1992.10.3, 市川和夫; 3♂, 1990.7.29, 市川和夫.

小鹿野町(合角): 1♂, 1989.9.22, 市川和夫.

小川町(仙元山): 1♀, 1995.10.14, 萩原 昇.

神川町: 1♂, 1985.10.24, 市川和夫.

北本市(石戸宿): 1♂1♀, 1984.9.29, 神久保美津夫; 2♂2♀, 1984.9.29, 市川和夫; 1♀ 1985.10.12, 竹内崇夫.

久喜市(青毛): 2♂1♀, 1984.10.6, 萩原 昇.

幸手市(上宇和田): 蛹の脱皮殻を確認, 1997.10.--, 萩原 昇.

秩父市: --, 1978-81.9.--, 坂田正哉.

所沢市: 幼虫確認, 1983.6.4, 市川和夫.

日高市: 1雌雄型, 1990.9.28, 田口聡史; 種名のみの記録, 1992. 市川和夫.

皆野町(上三沢): --, 1977.9.15.--, (養山): --, 1980.8.2.--.

横瀬町(字根・根古谷): --, 1978.9.10.--, (丸山): 1ex., 1993.10.16, 築比地秀夫.

寄居町: 1♂, 1984.10.10, 南部敏明; 1♀, 1984.10.17, 南部敏明; --, 1978-80.9-10.--, 吉田文作.

<埼玉県動物誌以前の記録>

浦和市大滝村(大輪)(中津川)(三峰山). 長瀬町. 飯能市.

4. [1994] *Rhodinia fugax* (BUTLER) ウスタビガ

入間市(仏子): 1♀, 1989.11.9, 井上 寛; 1♀, 1989.11.10, 井上 寛; 1♀, 1989.

11.12, 井上 寛; 1♂ 1♀, 1989.11.19, 井上 寛.

大滝村(中津川): 2♀, 1996.10.16, 柴田直之.

久喜市(東): 蛹を確認, 1985.--, 江村 薫.

川口市(石神): 1♂1♀, 1974.11.10, 中川勝利.

所沢市: 幼虫確認, 1983.6.4, 市川和夫; 繭確認, 1989.2.11, 石澤直也.

新座市: 2♀, 1985.11.3, 市川和夫; 1♀, 1985.11.11, 市川和夫.

日高市: 種名のみの記録, 1992. 市川和夫.

皆野町(養山): --, 1977.10.14, --.

横瀬町(字根): --, 1977.9.30, --, (丸山): 1ex., 1997.10.23, 土橋秀行.

<埼玉県動物誌以前の記録>

浦和市. 長瀬町.

5. [1995] *Rhodinia jankowskii* (OBERTHUR) クロウスタビガ

大滝村(滝沢ダム): 1♂, 1992.10.3, 市川和夫. (中双里): 4♂2♀, 1994.10.8, 柴田直之. (大

久保): 1♂, 1994.10.8, 柴田直之. (中津川): 4♂, 1994.10.8, 柴田直之.

6. [1996] *Saturnia jonasii* BUTLER ヒメヤママユ

入間市(仏子): 2♂, 1989.11.5, 井上 寛.

大滝村(栃本): --, 1978-81.10.--, 坂田正哉. (滝沢ダム): 3♂3♀, 1992.10.2, 市川和夫.

(中津川): 2♀, 1994.10.8, 柴田直之; 8♂, 1996.10.12, 柴田直之. (滝川): 5♂, 1986.10.22,

松本和馬; 2♂, 1996.10.16, 柴田直之. (白石山): --, 1978-80.10.--, 坂田正哉.

小鹿野町(合角): 4♂, 1990.10.20, 市川和夫. (桧山), 1990.10.20, 市川和夫.

小川町(腰越): 1♂, 1995.8.25, 岡本政雄. (木呂子): 1♀, 1998.10.25, 萩原 昇.

神川町: 12♂, 1985.10.24, 市川和夫.

川口市(行衛): 1♀, 1988.11.6, 築比地秀夫.

北本市(石戸宿): 1♂, 1992.8.27, 市川和夫.

所沢市: 幼虫確認, 1983.6.4, 市川和夫.

新座市: 4♂, 1985.11.3, 市川和夫; 1♂, 1985.11.5, 市川和夫; 3♂, 1985.11.6, 市川和

夫; 2♂, 1985.11.9, 市川和夫; 1♂, 1985.11.11, 市川和夫.

日高市: 種名のみの記録, 1992. 市川和夫.

皆野町(上三沢): --, 1977.10.18, --; (養山): --, 1978.9.30, --.

横瀬町(根古谷): --, 1977.10.30, --. (丸山): 1ex., 1997.10.23, 土橋秀行; 1ex., 1992.9.26, 築比地秀夫; 1♂, 1994.10.29, 萩原 昇.

寄居町: --, 1978-80.9-10.--, 吉田文作.

<埼玉県動物誌以前の記録>

朝霞市. 浦和市. 大滝村(大輪)(金山)(三峰山). 与野市.

7. [2998] *Actias artemis* (BREMER & GREY) オオミズアオ

入間市(仏子): 1♂, 1989.5.14, 井上 寛; 1♀, 1989.8.24, 井上 寛.

浦和市(三室): 1ex., 1987.5.10, 利根川雅実; 1ex., 1987.7.--, 利根川雅実.

大滝村(中津川): 1♂, 1996.07.16, 玉木長寿. (滝沢ダム): 5♂, 1991.6.7, 市川和夫. (滝川): 1♂, 1987.6.30, 宮下 直. (矢竹沢): --, 1978-81.5-7.--, 坂田正哉. (赤沢): --, 1978-81.5-7.--, 坂田正哉.

小鹿野町(合角): 3♂, 1988.7.2, 市川和夫; 5♂, 1989.5.4, 市川和夫; 1♂, 1989.6.10, 市川和夫; 1♂, 1989.8.4, 市川和夫; 1ex., 1989.8.10, 南部敏明; 2♂, 1990.4.28, 市川和夫. (薄): 4exs., 1987.8.22, 市川和夫.

川口市(新掘): 1♀, 1983.9.7, 神部正博.

北本市(石戸宿): 1♀, 1985.5.28, 岡安行雄.

久喜市(六万部): 2♂, 1985. 8.17, 萩原 昇.

小川町(仙元山): 1♂, 1994.6.25, 高橋 守. (木呂子): 2♂, 1993.7.17, 市川和夫; 2♂, 1995.7.15, 萩原 昇. (増尾): 1♂, 1999.5.8, 飯塚豊司.

秩父市: --, 1978-81.5-7.--, 坂田正哉.

所沢市: 1♂, 1983.9.3, 市川和夫.

日高市: 種名のみの記録, 1992.市川和夫.

皆野町(養山): --, 1978.7.22, --; --, 1980.8.--, --.

横瀬町(根古谷): --, 1977.6.26, --. (丸山): 4exs., 1992.6.20, 利根川雅実; 1♂, 1992.6.20, 萩原 昇.

寄居町: --, 1978-80.6-7.--, 吉田文作.

<埼玉県動物誌以前の記録>

大宮市. 大滝村(大輪)(二瀬)(三峰山). 戸田市. 長瀬町. 名栗村. 飯能市(間野).

8. [2999] *Actias gnoma* (BUTLER) オナガミズアオ

浦和市(秋ヶ瀬): 2 幼虫確認, 1990.6.19, 田中 剛.

大宮市(染谷): 1♂, 1988.6.11, 竹内崇夫.

春日部市(内牧): 1♂, 1988.5.16, 萩原 昇; 1♂, 1988.6.6, 萩原 昇.

川口市: 1♂, 1987.4.23, 森中香織.

北本市(石戸宿): 1♂, 1985.5.18, 氷室美芳.

久喜市(東): 1♂, 1985.5.1, 江村 薫; 1♀, 1985.5.21, 萩原 昇.

幸手市(上吉羽): 成虫の死骸を確認, 1999.7.18, 萩原 昇.

志木市: 幼虫確認, 1974.10.18, 矢野嘉和.

草加市(谷塚): 1♂, 1984.4.23, 神部正博. (柿木町): 1♂, 1984.4.27, 村上明子; 1♀, 1984.9.12, 大澤春男.

戸田市(道満): 1♂, 1995.9.2, 築比地秀夫.

日高市: 種名のみの記録, 1992. 市川和夫.

横瀬町(丸山): 2♂, 1994.6.4, 萩原 昇.

寄居町: --, 1978-80.7-8.--, 吉田文作.

Agliinae エゾヨツメ亜科

1. [3000] *Aglia japonica* LEECH エゾヨツメ

入間市(仏子): 1♀, 1989.4.13, 井上 寛.

大滝村(滝川): 1♂, 1987.6.30, 宮下 直; --, 1978-81.6.--, 坂田正哉. (入川林道): 2♂, 1995.04.29, 築比地秀夫; 2♂, 1995.04.29, 萩原 昇.

小鹿野町(台角): 1♂, 1989.5.4, 市川和夫.

日高市: 種名のみの記録, 1992. 市川和夫.

皆野町(大霧山): --, 1977.5.10, --.

<埼玉県動物誌以前の記録>

浦和市(三室). 神泉村(向平). 川口市.

(はぎわら のぼる 〒344-0053 春日部市梅田本町2-9-3)

春日部市でヒロヘリアオイラガの羽化を確認

萩原 昇

近年、県内の各地で棲息範囲を拡大しているヒロヘリアオイラガの棲息と羽化を春日部市で確認したので、その生態写真を添えて報告する。

確認場所 春日部市梅田本町 2-9-3

加害樹木 カキ・ハナモモ・ウメ・エノキ・ニシキギ・カナメモチで幼虫を確認

羽化確認日 2000年 8月24~28日

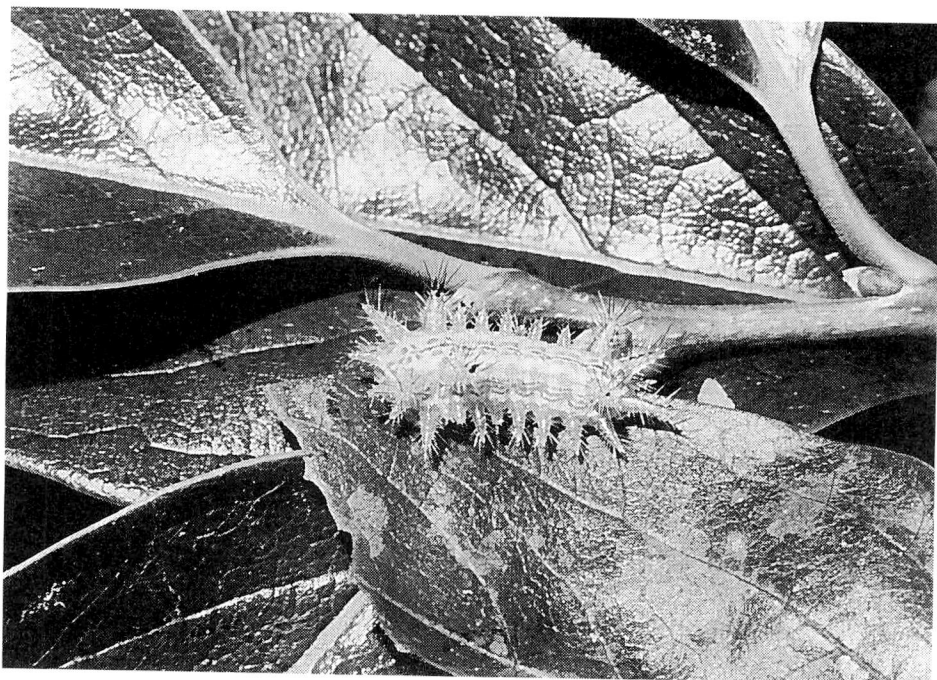


写真1. 本種の幼虫

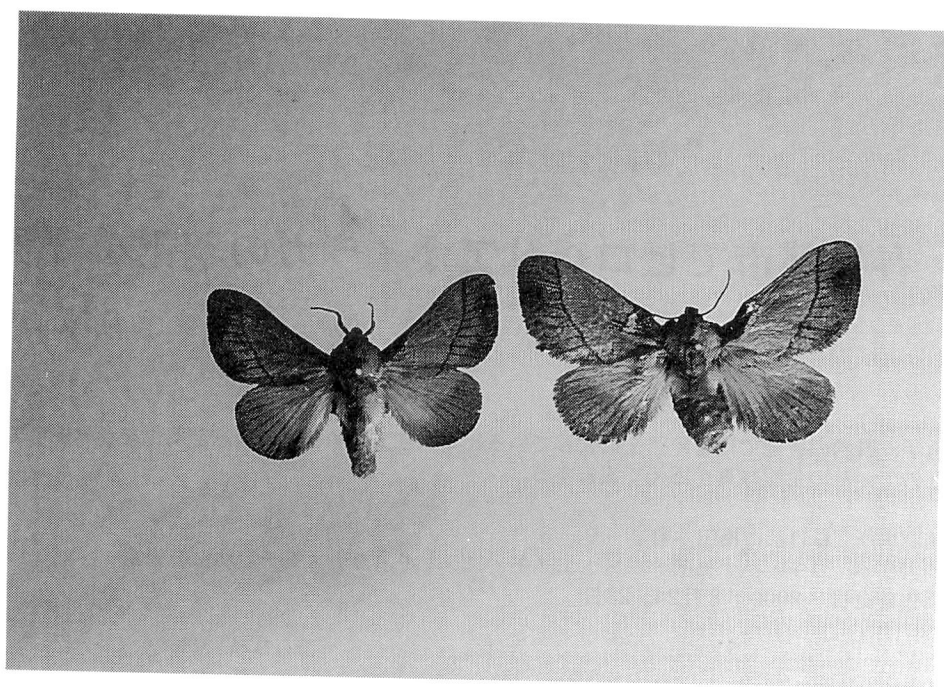


写真2. 本種の成虫

(はぎわら のぼる 〒344-0053 春日部市梅田本町2-9-3)

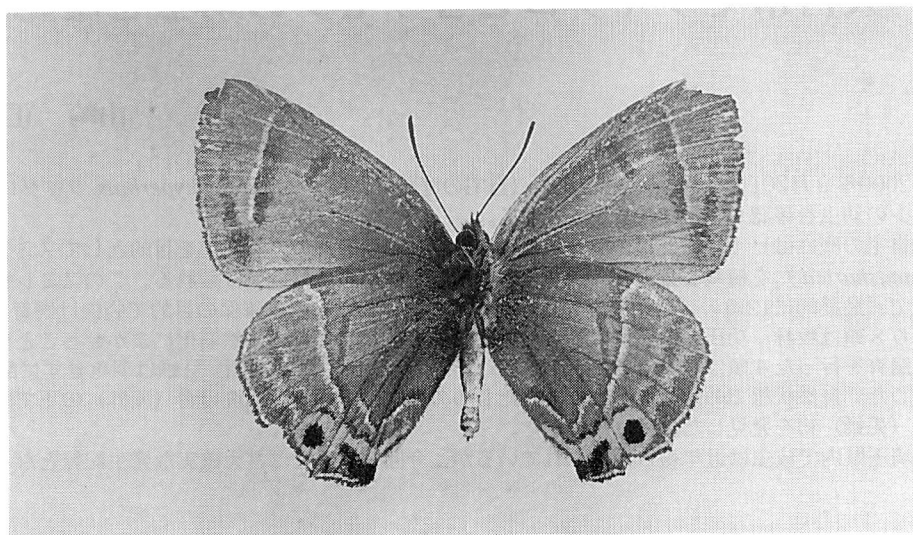
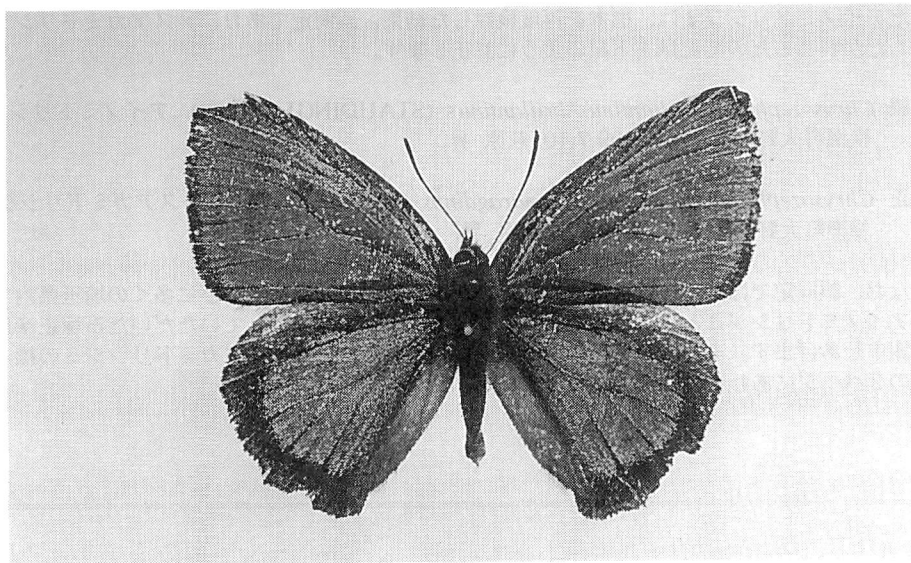
大野峠でメスアカミドリシジミを採集

萩原 昇

堂平山から丸山にかけて点在するカシワやミズナラの林はゼフィルスが多産地として古くから知られ、多くの採集者によって調べられていた。しかし、最近の報告が少なく棲息状況が不明確である。筆者は、昨年に引き続きこの地域のゼフィルスの調査を実施した。その結果、メスアカミドリシジミ 1 ♂を採集したので写真(下記, 上: 表面, 下: 裏面)を添えて報告する。

Chrysozephyrus smaragdinus smaragdinus (BREMER, 1861) メスアカミドリシジミ

横瀬町大野峠: 1 ♂, 2000.7.9, 萩原 昇.



なお、メスアカミドリシジミの横瀬町丸山付近での採集記録は、矢野高広氏が1992年に終齢幼虫を採集し、その後、石塚正彦氏が1993年12月29日に5卵(寄せ蛾記70号, p.1580)を採集し、続いて1994年の4月24日と5月15日(寄せ蛾記72号: P. 1685)にサクラから幼虫を採集したことが記録されている。

大野峠でのメスアカミドリシジミ以外の採集記録(採集者はいずれも萩原 昇)

オオミドリシジミ 2♂, 2000.7.2; 1♂ 1♀, 2000.7.9.

ミズイロオナガシジミ 1♀, 2000.7.9.

アカシジミ 1♂, 2000.7.2; 1♂, 2000.7.9.

ムラサキシジミ 1♂, 2000.7.2.

クジャクチョウ 1♂, 2000.7.2.

〔訂正とお詫び〕

寄せ蛾記93号のP. 2776~2777に掲載した、大野峠(本年の採集場所とほぼ同じ場所)で採集したアイノミドリシジミは、標本を再度検討した結果、誤同定であり、メスアカミドリシジミであることが判明したので記録を下記のように訂正します。

誤 *Chrysozephyrus brilliantinus brilliantinus* (STAUDINGER, 1887) アイノミドリシジミ

横瀬町大野峠: 1♂, 1999.7.10, 萩原 昇.

↓

正 *Chrysozephyrus smaragdinus smaragdinus* (BREMER, 1861) メスアカミドリシジミ

横瀬町大野峠: 1♂, 2000.7.9, 萩原 昇.

なお、誤同定ではないかと指摘をいただいた本会員の加藤輝年氏並びに多くの埼玉県内で採集したアイノミドリシジミとメスアカミドリシジミの標本写真を提供していただいた石塚正彦氏に深く感謝申し上げます。また、石塚正彦氏から提供していただいたメスアカミドリシジミの標本写真を次の2ページにあわせて掲載いたします。

大宮市でツマグロヒョウモンの幼虫を確認

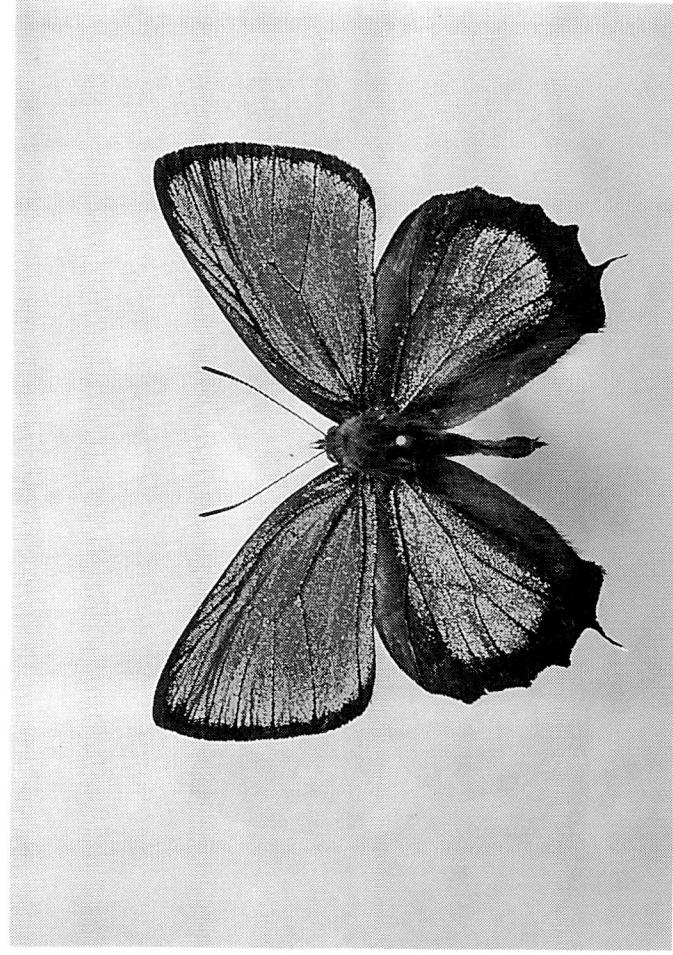
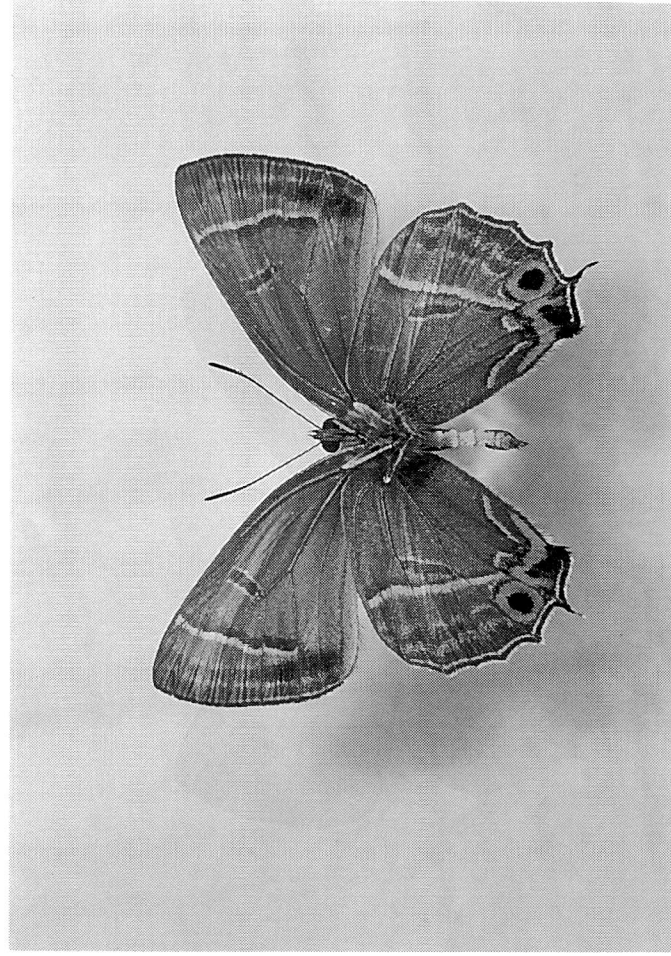
山崎 正則

2000年9月20日、埼玉県大宮市島町(自宅の庭)において *Argyreus hyperbius* ツマグロヒョウモンの幼虫を確認したので報告しておく。

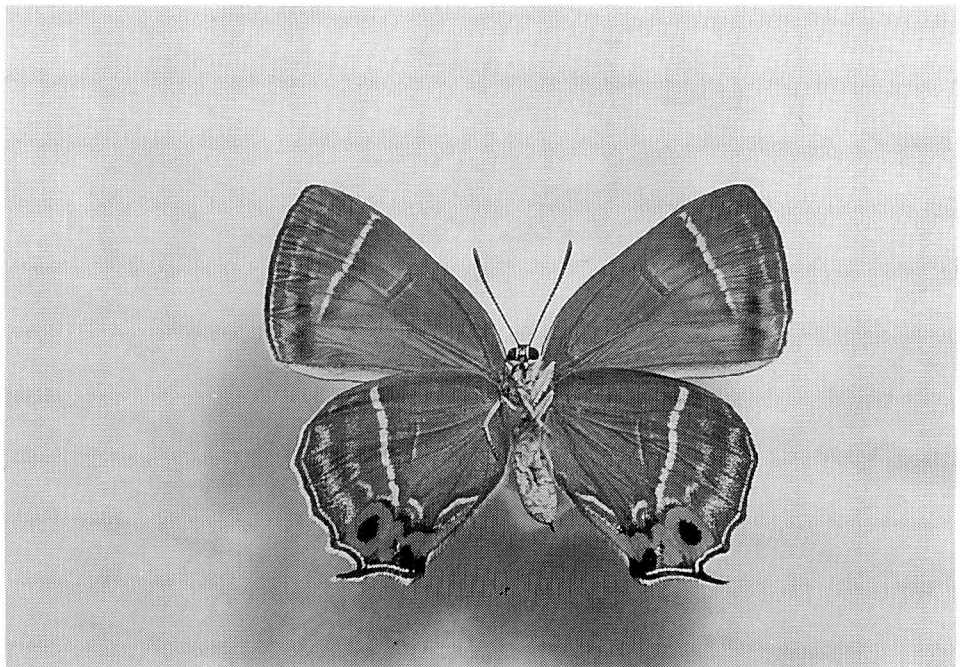
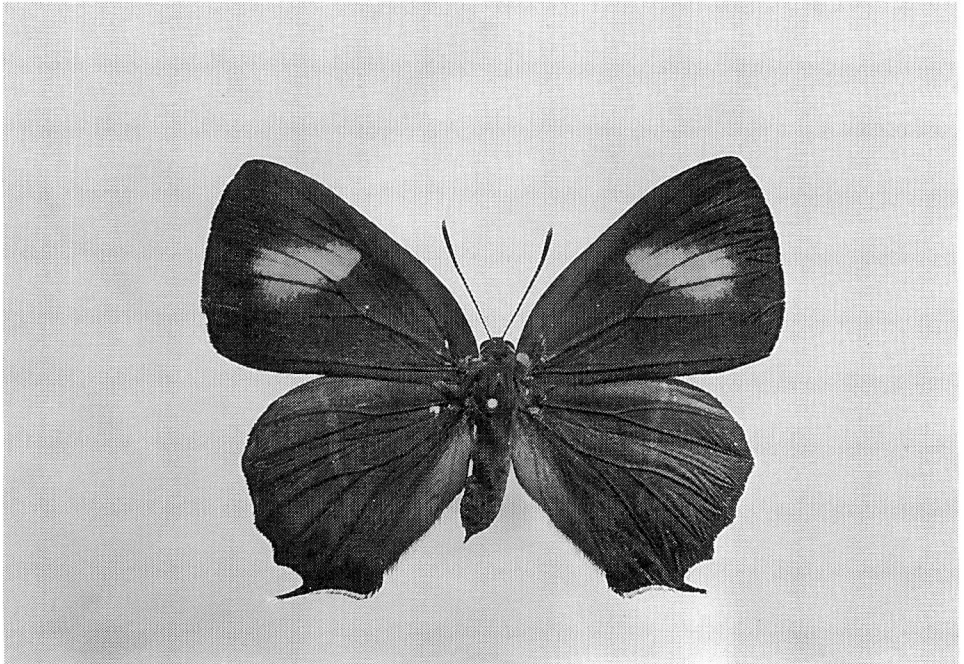
自宅の庭にはヒョウモン類の飼育、及びミドリヒョウモンの自然発生を目的としてスミレ (*V. mandshurica*) を植栽しており、現在自然繁殖した株が相当数見受けられる。このスミレ群落の中で、最終的に12頭の終令幼虫を確認した。この内、4頭を標本確保の目的で袋掛け飼育を行い、残り8頭は牧林 功氏の助言により自然発生の為放置し、全くの自然羽化にまかせることにした。

飼育を行った4頭は10月2日、5日に各♂♂が羽化、1蛹は蠅の寄生、1蛹は羽化せずに飼育は終了した。自然状態での蛹は、かなり搜したものの僅かに1蛹が、手洗い台(屋外)の下で落ちていた(死蛹)物を発見しただけに終わった。

埼玉県内で成虫は近年報告がなされているが、今回は偶然とは言え確実な発生記録となる。



メスアカミドリシジミ♂ (丸山北側定峰川上流産, 1998.6.20, 成虫採集, 石塚正彦氏)



メスアカミドリシジミ♀ (丸山産, 1993.12.29, 卵採集・飼育, 石塚正彦氏)

(はぎわら のぼる 〒344-0053 春日部市梅田本町2-9-3)

川口市でいままで記録のなかった蝶の記録

川嶋 敬純

「埼玉県昆虫誌Ⅰ第2分冊」に川口市の記録が掲載されていない蝶について、筆者は採集や目撃をしているので、古い記録が多いがこの機会にまとめて報告する。

1. モンキアゲハ

川口市赤井	1977.5.13	1♂	採集
" 安行	1977.5.22	1♂	目撃
" 赤井	1977.8.12	1♂	採集
" 安行原(安行中学校)	1980.8.9	2♂♂	目撃
" 安行原(安行中学校)	1980.9月初旬	1ex.	目撃
☆ 以後注意して見ていたら安行中学校裏で毎年8月10日前後に目撃できた。			
" 峯八幡宮	1994.5月末	1ex.	目撃
" 東本郷	1997.4.29	1♂	採集

2. オナガアゲハ

川口市安行原(安行中学校)	1976.8.12	1♂.	採集
" 安行原(安行中学校)	1978.5.5	1♂	目撃
" 安行慈林	1978.5.24	2♂♂	目撃
" 新郷貝塚	1979.4.29	2exs.	目撃
☆ 近年全く目撃なし。			

3. ジャコウアゲハ

川口市戸塚(戸塚小学校)	1979.7.27	1♀	目撃
" 赤井	1980.7.20	1♂採集2♂♂4♀♀	目撃
" 安行吉岡	1980.9月初旬	1ex.	目撃
" 赤井	1982.4月下旬~5月中旬	1♂1♀採集	多数目撃
☆ 近年目撃なし			

4. アサギマダラ

川口市安行原	1977.7.7	1ex.	目撃
" 安行原(安行中学校)	1977.9.28	1ex.	目撃
" 安行(安行東中学校)	1988.9月初旬	1ex.	目撃
" 峯八幡宮	1997.4.29	1ex.	目撃
" 東本郷	1999.4月	1ex.	目撃
" 安行猿貝貝塚	1999.10.11	2♂♂	採集
" 赤山	1999.10.11	1ex.	目撃

5. ヒオドシチョウ

川口市安行吉岡	1979.6.1	1ex.	目撃
" 安行慈林	1980.6.15	2ex	目撃
" 赤井	1993.10.9	1ex.	目撃

6. ミドリヒョウモン

川口市安行原(安行中学校)	1973年(以前は分からない)	から1983年まで毎年9月に目撃
" 芝 (芝西中学校)	1985.9.28	1ex. 目撃

7. ホシミスジ

川口市赤井	1984.8.14	1♀	採集
-------	-----------	----	----

コムラサキがランタナの花を訪花

阿部 功

静岡県袋井市に約3週間程出張した。この際クロコムラサキの産地として有名な、川根町家山の大井川河川を5回訪れ蝶の採集をした。

ここで、花を訪れることはきわめて稀であるとされるコムラサキが河川敷内に植えられたランタナの花を訪花していたので発表します。

また主な採集記録も合わせて報告します。

記録

コムラサキ

2000. 9. 17 川根町家山 黒色型 1♂ 採集
普通型 1♂ 採集

コムラサキがランタナの花を訪花

2000. 9. 21 川根町家山 黒色型 5♂ 採集
" 1♀ 採集
普通型 2♂ 採集

9/21採集したコムラサキは新鮮の個体で第3化と思われる。また黒色型の割合は60%位と思われ、黒色型が多いと感じた。

ツマグロキチョウ

2000. 8. 29 川根町家山 夏型 5♂採集
" 1♀採集
2000. 9. 10 " 夏型 1♂採集
2000. 9. 17 " 秋型 4採集
2000. 9. 21 " 夏型 2♂採集
秋型 2採集

9/17より秋型が見られた、同時に夏型の破損したものが見られた。

なお、東海地方を襲った大雨のため河川敷内のカワラケツメイは一時全部が水没した。

ミヤマシジミ

2000. 8. 29 川根町家山 1♀目撃
2000. 9. 10 " 2♂採集
2♀採集
2000. 9. 17 " 5♂採集
2♀採集
1幼虫採集
2000. 9. 21 " 2♂採集
2♀採集

食草のコマツナギは河川敷内及び堤防に繁殖している。

ツマグロヒョウモン

2000. 9. 10 川根町家山 2♀採集
2000. 9. 17 " 3♂採集
1♀採集
2000. 9. 21 " 1♂採集
1♀採集

チャバネセセリ

2000. 9. 17 川根町家山 2♂採集

越谷市においてオオウラギンスジヒョウモンを採集

阿部 功

越谷市県健康福祉村において、シオンの花にきたオオウラギンスジヒョウモンを採集したので報告します。

オオウラギンスジヒョウモンは、越谷市の近隣の川口市、浦和市等埼玉県平野部に記録が有るが越谷市には記録がなかった。

オオウラギンスジヒョウモン

2000. 9. 24 越谷市西新井県健康福祉村 1♀ (標本筆者保管)

メッシュコード 5339-6650

(あべ つとむ 〒343-0807 越谷市赤山町3-235-3)

クロナガハナゾウムシの採集例

豊田 浩二

Bradybatus sharpi TOURNIER, 1873 クロナガハナゾウムシは豊田(1998)で埼玉県下から初めて記録された種である。嵐山町大平山での採集個体は採集時の具体的な状況を覚えていなかったため、その後再発見できないままであったが、この度大滝村の三峰神社にて本種を多数観察する機会に恵まれたので報告する。

16頭, 4.V.2000, 大滝村三峰神社, 筆者採集, 保管.

雲取山への登山口付近に恐らく植えたものと思われるシャクナゲの群落が見られ、この葉上に1個体ずつ静止しているのが観察された。採集したもの以外にもひょうに多くの個体が観察され、発生時期のピークであったものと思われる。シャクナゲの新芽付近に多く見られたため新芽を食しているものと思われるが詳細は不明である。嵐山町大平山ではシャクナゲは当然自生していないので、ツツジ科の別の種に依存している可能性もある。また本種は山地性の種であるが、今回の観察例からすると奥秩父あたりでシャクナゲ類の新芽を探す事により容易に採集できるであろう。

【引用文献】

豊田浩二, 1998. 埼玉県嵐山町における甲虫相の研究. 寄せ蛾記, (89): 2583-2646.

(とよだ こうじ 〒355-0221 比企郡嵐山町菅谷686)

伊奈町でクロコノマチョウ

斎藤 光一

伊奈町小室の通称無線山で2000年10月12日クロコノマチョウの新鮮な♀を採集したので報告する。当日は晴天だったので同地を散歩していたところ、午後2時ごろ林縁の下草からふわふわと飛び立ったところを帽子で採集した。標本は筆者が所有している。

(さいとう こういち 〒362-0807 伊奈町寿1-67)

鳩山町でクロコノマチョウを採集

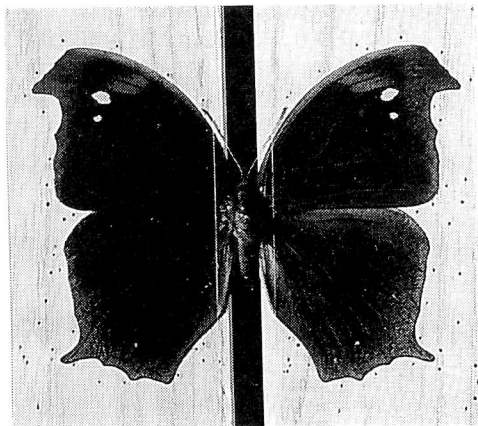
森田 英生

私は、皆様と同じく蝶の採集を楽しんでいる者の一人で、昭和59年に埼玉昆虫談話会が発行された「埼玉蝶の世界」をいつも愛読しております。

この度、自宅近くの山ぎわでクロコノマチョウを下記のように2頭採集いたしました。「埼玉蝶の世界」によりますと、当時埼玉県では未確認となっていました。その後の記録は分かりませんが、希少と思われますので下記のとおり報告します。

クロコノマチョウ 秋型 1♂ 極新鮮
 採集日 平成12年10月10日
 場所 比企郡鳩山町 鳩山ニュー
 タウン 隣の山
 天候 晴れ、気温24℃程
 時刻 午後3時20分
 * 写真は展翅中の採集品

クロコノマチョウ 秋型 1♀ 新鮮
 採集日 平成12年11月4日
 場所 比企郡鳩山町 鳩山ニュー
 タウン 隣の山



(もりた ひでお 〒350-0314 鳩山町楓ヶ丘1-11-5)

ネコがクロアゲハの成虫を襲う

加藤 輝年

2000年9月24日の午前11時50分ごろ、飯能市坂石町分にある実家の庭でネコがクロアゲハの成虫を襲う場面を目撃した。

この日なにげなく家の中から庭を眺めていると、高さ1m程のカラスザンショウがいつのまにか自然に生えているのに気がついた。そしてそのまわりを1頭のクロアゲハの♀が（おそらく産卵のためであろう）ゆっくりと飛びまわっていた。クロアゲハはカラスザンショウにも産卵するのかと見てみると、突然、ドサッと音がした。茂みに潜んでいた近所のネコがクロアゲハを襲い着地した音だった。ネコの足元にクロアゲハが見えた。数秒じっとしていたこのネコはその後クロアゲハを口にくわえ運び去った。

(かとう てるとし 〒357-0044 飯能市川寺384-1)

【報文の訂正】

『寄せ蛾記』97号, pp.2966-2967の「飯能市と名栗村でのカラスジミの追加記録」の報文中に引用ミスと誤字が見つかったのでお詫びして訂正します（加藤輝年）。

■ p. 2966 本文上から17行目

《誤》「埼玉県名郷 25, VI, 1955」の1♂ → 《正》1♀

■ p. 2967 図2の説明

《誤》ピン差しで飼育 → 《正》ピン挿し

(かとう てるとし 〒357-0044 飯能市川寺384-1)

マイコアカネ♂を所沢で確認

石澤 直也

マイコアカネ *Sympetrum kunkeli* (Selys) の埼玉県内の分布は、碓井ら (1998) が指摘しているように、県西部では、川島町 (齋藤, 1997), 入間市 (荻野, 1997) の記録があるだけで、その多くは県東部に集中している。今回、所沢市荒幡で本種が確認されたので報告する。

所沢市荒幡 1♂ 1.X. 2000

本種を見かけたのは、狭山丘陵の東端に近い尾根筋にある荒幡市民の森の南側の狭い草地で、当該地では度々アオイトトンボが見かけられた所である。当地から約7km 北西にある入間市宮寺の大森調節池でも本年9月6日1♂, 9月25日1♀が目撃されている。

参考文献

- 碓井徹・鈴木幸・斉藤洋一, 1998. 埼玉県のトンボ目, pp.21-50, 埼玉県昆虫誌 I.
荻野 豊, 1997. 手紙: 大森調節池のアキアカネ, Symnet, (6): 8-9.
齋藤 清, 1997. 埼玉県内でのトンボ類の採集記録 1996. 寄せ蛾記, (82): 2263-2268.

(いしざわ なおや 〒359-1145 所沢市山口1644-15)

「埼玉県における甲虫類の記録」の訂正

石蔵 拓

筆者が報告した標記 (寄せ蛾記, 96号 pp.2896-2901) で以下のように誤りがあったので、ここに訂正致します。

ホソヒメクロオサムシ

筆者は同定者に「ホソヒメクロオサムシ」と同定していただく。
埼玉昆虫誌において筆者は、この和名に関する記述を見つけることはできなかった。
報告後、ホソヒメクロオサムシの亜種名である「オクタマルマンオサムシ」の名前で記録してあると指摘を受けたため、筆者の誤りを認め、本種の「埼玉昆虫誌未記録」扱いを取消する。

リングヒゲナガゾウムシ

正しくはリングヒゲナガゾウムシで、タイプミスがあり、又さらに、本種をヒゲナガゾウムシ科に属するものと思い込み、その科だけで埼玉昆虫誌の記録を調べてしまった。本種は正しくはゾウムシ科に属し、その科において昆虫誌には本種の記録もあるため、筆者の誤りを認め、本種の科名の訂正と「埼玉昆虫誌未記録」扱いを取消する。

以上

(いしくら ひらき 〒170-0012 豊島区上池袋3-34-11-707)

紹介

荒川第一調整池動植物調査報告書 —— 彩湖の自然 ——

平成3年から5年間続けられた、荒川第一調整池の動植物調査の結果がまとめられ、先般発行された。奥付は平成9年3月10日の発行であるが、実際には平成12年の発行である。

本書は概説、植物相、植生、哺乳類、鳥類、魚介類・甲殻類・カメ類、水生昆虫、陸生昆虫という内容になっている。

水生昆虫は碓井徹、鈴木幸両氏の執筆で、調整池と周辺の水生昆虫として、トンボ目14種、カメムシ目5種、コウチュウ目16種を掲げている。この中で注目すべき種はババアメンボ、エサキアメンボの2種。トダセスジゲンゴロウは今回の調査では発見できなかった。

水生昆虫の項では生息種の日録より、調節池の今後の環境整備事業への提言に耳を傾けなければならないまい。すなわち一つの池に抽水動物、浮葉植物、沈水植物が存在することが望ましく、具体例として隣接する道満グリーンパークの水棲植物園をあげ、多様な生活型の植物の植栽が必要だとする。

また岸辺にアシ、ガマなどの抽水植物を繁茂させると共に、ヤナギ類など樹木の植栽をする。この場合、下枝が水面に触れるほど水際に植える事が好しい。このような植栽だと水面に樹陰ができるので、冷水面の確保が可能になる。さらに岸辺近くに枯木を沈め、トンボなどの休息場や羽化場を確保する必要がある。つまり岸辺の多様な自然環境の創出である。

岸辺林の背後に雑木林をつくり、多くの昆虫類に生活の場を提供する。林からは落葉が出る。落葉は岸辺に堆積し、水生昆虫の餌やかくれ家となることが期待できる。

最後に流水域の創出もしたいと提言している。

陸生昆虫は、この調査の初期に不慮の事故で亡くなられた市川和夫氏のあとを引き継ぎ、萩原昇、築比地秀夫両氏が執筆している。陸生昆虫はチョウ目295種、コウチュウ目143種、カメムシ目23種、その他20種となっていて、チョウ目に重点が置かれている。戸田市動物誌(1989)では194種しか記録されなかったが、今回は295種にふくれ上がっていることから判断できる。また今回調査でマダラマルハヒロズコガ、ナカノホソトリバ、アザミカバナミシャク、ヤナギドクガ、シロナヨトウ、ガマキンウワバの6種が埼玉県初記録としてあげられた。

1986年からの蛾相の変遷では、毎年新しい種が記録されていて、この地域に常に新しい種が侵入できる可能性があることと、在来種が長く定着しない点のあることを指摘している。このことは蛾相が非常に不安定で、自然環境が好ましくないと判断している。

提言としては表土の保全、暗闇空間の確保、植樹による生物相の安定化をあげ、秋ヶ瀬一帯の林と連なるグリーンベルトの創出に期待を寄せている。

またヒラタクワガタ、ミドリシジミなど希少種の保護にも触れている。

A4判、202pp、8 pls、上製箱入、編集・発行は荒川第一調整池生物等調査会。しかし発行主体は平成8年度末で解散しているので、この書に興味をもたれた方は文中の執筆者に問い合わせいただきたい。

(牧林 功)

昆虫誌プラス (6)

埼玉昆虫談話会

当会は、1999年に、埼玉県産昆虫9,360種をリストした『埼玉県昆虫誌』別巻を刊行した。

本報文は、別巻刊行後に明らかになった埼玉県初記録種を含む報文を中心に、学名・和名の変更、種の削除などを適宜まとめて紹介するものである。

まとめ方や閲覧文献などの詳細については、本報文の連載初回である『寄せ蛾記』93号p.2803を参照されたい。なお、本報文は、しばらくは『寄せ蛾記』の編集責任者である碓井徹がまとめを担当し、分類体系は『埼玉県昆虫誌』別巻に準拠しつつ、判る範囲で『日本産野生生物目録 無脊椎動物編 II, 環境庁編, 1995』での分類上の位置づけも並記した。

担当がしっかりと目を通せる文献については、本連載の過去のを参照されたい。

【埼玉県初記録種】

COLEOPTERA 鞘翅目

◆ 豊田 浩二 (2000) 寄せ蛾記 (98): 2975-2984.

Hydrophilidae ガムシ科

Laccobius fragilis NAKANE, 1966 ヒメシジミガムシ

Histeridae エンマムシ科

Anapleus semen (LEWIS, 1884) ツブエンマムシ

Leiodidae タマキノコムシ科

Ptomaphagus takaosanus NAKANE, 1982 タカオオニセチビシデムシ

Sciodrepoides fumatus (SPENCE, 1815) カバイロコチビシデムシ

Trogidae コブスジコガネ科

Trox scaber (LINNAEUS, 1767) チビコブスジコガネ

Scarabaeidae コガネムシ科

Aphodius madara NAKANE, 1960 マダラヒメスジマグソコガネ

Aphodius brevisculus (MOTSCHULSKY, 1866) ヌバタママグソコガネ

Aphodius yamato NAKANE, 1960 クロツブマグソコガネ

Oxyomus ishidai NAKANE, 1977 イシダマグソコガネ

Clambidae タマキノコムシモドキ科

Clambus nipponicus ENDRODY-YOUNGA, 1960 ニホンタマキノコムシモドキ

Elmidae ヒメドロムシ科

Zaitzevia nitida NOMURA, 1963 ツヤドロムシ

Eucnemidae コメツキダマシ科

Isorhipis foveata HISAMATSU, 1955 ホソナガコメツキダマシ

Xylobius rufomarginatus FLEUTIAUX, 1929 ツヤヒメコメツキダマシ

Cantharidae ジョウカイボン科

Trypherus mutilatus (KIESENWETTER, 1879) ニセキベリコバネジョウカイ

Melyridae ジョウカイモドキ科

Carphuroides plagiat (KIESENWETTER, 1874) コバネジョウカイモドキ
Ebaeus oblongulus (KIESENWETTER, 1874) クギヌキヒメジョウカイモドキ

Rhizophagidae ネスイムシ科

Monotopion ferrugineum REITTER, 1884 ニセデオネスイ
Mimemodes japonus (REITTER, 1874) コバケデオネスイ

Cryptophagidae キスイムシ科

Telmatophilus orientalis SASAJI, 1987 ガマキスイ

Cerylonidae カクホソカタムシ科

Lapecautomus orientalis SASAJI, 1983 ナガマルホソカタムシ

Coccinellidae テントウムシ科

Scymnus kaguyahime H.KAMIYA, 1961 カグヤヒメテントウ

Melandryidae ナガクチキムシ科

Dircaomorpha validicornis (LEWIS, 1895) ムツモンナガクチキ

Mordellidae ハナノミ科

Mordellaria arakii (NAKANE et NOMURA, 1950) アラキハナノミ
Falsomordellina takaosana (KONO, 1932) タカオヒメハナノミ

Tenebrionidae ゴミムシダマシ科

Ischnodactylus loripes LEWIS, 1894 ヒラタキノコゴミムシダマシ
Tarpela brunnea brunnea (MARSEUL, 1876) コマルムネゴミムシダマシ

Curculionidae ゾウムシ科

Trachodes subfasciatus VOSS, 1957 ダルマカレキゾウムシ
Hylobitelus futabae MORIMOTO, 1982 フタバアナアキゾウムシ

【昆虫誌プラスへの訂正など】

COLEOPTERA 鞘翅目

- ◇ 本誌96号で豊田浩二氏が記録した以下の1種は、埼玉県産リストから削除。
 それを指摘したのは次の報文： 豊田 浩二 (2000) 寄せ蛾記 (98): 2975-2984.

Dytiscidae ゲンゴロウ科

Potamonectes hostilis (SHARP, 1884) コシマチビゲンゴロウ → 削除

- ◇ 本誌97号『昆虫誌プラス (5)』で訂正したオサムシ科のホソヒメクロオサムシとヒゲナガゾウムシ科のリングヒゲナガゾウムシの削除に関しては、この2種を‘埼玉県初記録’とした著者自身により、以下の報文で‘埼玉県初記録’を取り消された。

石蔵 拓 (2000) 寄せ蛾記 (98): 3001.

表 埼玉県産昆虫 目ごとの科・種数 最新情報

2000.11.22

		埼玉県昆虫誌 別巻 (1999)		前回までの 変更の合計		今回まとめ た変更の計		最新の科数 と種数	
目	名	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数
COLLEMBOLA	トビムシ目	9科	38種		+1種			9科	39種
PROTURA	カマシムシ目	4科	26種					4科	26種
DIPLURA	コムシ目	3科	4種					3科	4種
MICROCORYPHIA	イシノミ目	1科	1種					1科	1種
THYSANURA	シミ目	1科	1種					1科	1種
EPHEMEROPTERA	カゲロウ目	10科	72種					10科	72種
ODONATA	トンボ目	11科	90種					11科	90種
PLECOPTERA	カワゲラ目	9科	51種					9科	51種
BLATTARIA	ゴキブリ目	2科	4種					2科	4種
MANTODEA	カマキリ目	1科	5種					1科	5種
ISOPTERA	シロアリ目	1科	1種					1科	1種
ORTHOPTERA	直翅目	12科	121種		+1種			12科	122種
PHASMIDA	ナナフシ目	1科	5種					1科	5種
DERMAPTERA	ハサミムシ目	4科	13種					4科	13種
GRYLLOBLATTODEA	カマシムシ目	1科	4種					1科	4種
PSOCOPTERA	チャテムシ目	1科	1種					1科	1種
MALLOPHAGA	ハジラミ目	1科	1種					1科	1種
ANOPLURA	シラミ目	5科	10種					5科	10種
THYSANOPTERA	アザミウマ目	2科	13種					2科	13種
HETEROPTERA	異翅目	38科	362種					38科	362種
HOMOPTERA	同翅目	36科	619種		+3種			36科	622種
AUCHENORRHYNCHA	頸吻亜目	(17科367種)			(+2種)			(17科369種)	
STENORRHYNCHA	腹吻亜目	(19科252種)			(+1種)			(19科253種)	
MEGALOPTERA	ヘビトンボ目	2科	5種					2科	5種
RAPHIDIOPTERA	ラカバムシ目	2科	2種					2科	2種
NEUROPTERA	アミメカゲロウ目	10科	46種		+3種			10科	49種
COLEOPTERA	鞘翅目	107科	2826種	+1科	+96種	+28種, -1種		108科	2949種
STREPSIPTERA	シシハネ目	3科	13種					3科	13種
HYMENOPTERA	膜翅目	51科	1069種	+1科	+57種			52科	1126種
MECOPTERA	シアリムシ目	2科	18種		+1種			2科	19種
SIPHONAPTERA	ノミ目	8科	30種					8科	30種
DIPTERA	双翅目	87科	1490種		+6種			87科	1496種
TRICOPTERA	トビケラ目	19科	83種					19科	83種
LEPIDOPTERA	鱗翅目	57科	2336種		+11種			57科	2347種
	蝶類	(5科135種)			(+1種)			(5科136種)	
	蛾類	(52科2201種)			(+10種)			(52科2211種)	
32目 501科 9,360種		+2科+179種		+27種		503科 9,566種			
(埼玉県昆虫誌 別巻刊行時)		(前号までの計)		(本号での計)		(本誌 刊行時)			

紹介

「小川町の自然 動物編 ふるさとに住む生きものたち」

小川町史に付随する動物調査は、市川和夫前代表の輪禍という痛ましい事故があったことで、私達の記憶に焼きついている。その調査が終了し、今年ようやく報告書が発行された。それが標題の書である。A4判394ページ総アート紙ハードカバーの堂々たる本である。

第1部ふるさとの動物たち、第2部小川町の動物相の2部構成となっている。

第1部はオールカラー印刷で、ふんだんに生態写真を使った町民向けの分かりやすい動物読本といった感じで、見ていて飽きない。

例えばヤセヒシバツタとハラヒシバツタの分布図があり、この両種のすみ分けは何が原因でこうなったのだろう、なんて考えさせられる。また、この調査でトワダギングチバチ♀とキユビギングチバチ♂が同種だったことが分かったことなど、さすがに南部さんだなんて感心する。さらにめくっていくと在りし日の市川さんの勇姿があらわれたりと、バラエティに富んでいて興味深い。

第2部の動物相は、採集記録と若干の解説を伴う目録で、トンボ目を碓井徹氏、直翅目を内田正吉氏、甲虫類を高橋守氏、膜翅類を南部敏明氏、半翅目を野沢雅美氏、鱗翅類を萩原昇氏（故市川和夫氏と共著）、双翅類を原勝司氏というように会員が頑張って執筆している。

小川町は外秩父部山地（低山帯）と小川盆地（台地・丘陵帯）よりなる地域で、埼玉県中央に位置し、埼玉県の動物相を考える上で重要な場所である。是非手許におかれることをお勧めしたい。申し込みは小川町教育委員会（0493-72-1221）、定価は3500円である。なお、著作割引があるので、執筆者の誰かに依頼するのも一方法である。

（牧林 功）

寄せ蛾記 98号 目次

豊田 浩二	：埼玉県から新たに記録される甲虫類（2）	・ 2975-2984
豊田 浩二	：埼玉県及び群馬県からのヒラヤマミズアブ採集例 ・ 2985-2986	
萩原 昇	：Wanted 平地・丘陵の大型蛾	・ 2987-2991
萩原 昇	：春日部市でヒロヘリアオイラガの羽化を確認	2991-2992
萩原 昇	：大野峠でメスアカミドリシジミを採集	・ 2993-2996
山崎 正則	：大宮市でツマグロヒョウモンの幼虫を確認	・ 2994
川嶋 敬純	：川口市でいままで記録のなかった蝶の記録	・ 2997
阿部 功	：コムラサキがランタナの花を訪花	・ 2998
阿部 功	：越谷市においてオオウラギンスジヒョウモンを採集 ・ 2999	
豊田 浩二	：クロナガハナゾウムシの採集例	・ 2999
斎藤 光一	：伊奈町でクロコノマチョウ	・ 2999
森田 英生	：鳩山町でクロコノマチョウを採集	・ 3000
加藤 輝年	：ネコガクロアゲハの成虫を襲う	・ 3000
加藤 輝年	：報文の訂正	・ 3000
石澤 直也	：マイコアカネ♂を所沢で確認	・ 3001
石蔵 拓	：「埼玉県における甲虫類の記録」の訂正	・ 3001
	本の紹介 荒川第一調整池動植物調査報告書 —— 彩湖の自然 —— (紹介者：牧林功)	・ 3002
埼玉昆虫談話会	：昆虫誌プラス（6）	・ 3003-3005
	本の紹介「小川町の自然 動物編 ふるさとに住む生きものたち」 (紹介者：牧林功)	・ 3006
会 報		・ 3006
編集後記		・ 3006